



人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

広報 **さつま** 2012 **12**



伝統芸能を
継承して **まげ** 鬻り踊り



No.93

2	こども図書館一周年記念特集
6	町政マニフェスト報告
8	介護保険事業の状況
10	国民健康保険の医療費
12	予防接種についてのお話
13	川内川激特・鶴田ダム再開発速報
14	行革情報
16	まちのニュース
28	くらしの情報
30	ためになる「お口のお話」保健師だより
31	まちの園芸作物紹介
33	がんばれ認定農業者
35	誕生・おくやみ 1歳で～す
36	人・夢 休日在宅医・薬局

こども図書館一周年記念特集

こども図書館（えほんの森）



満1歳
になりました!

子どもたちの読書活動の拠点施設として薩摩支所内に県内で初めてオープンした「こども図書館（えほんの森）」が10月27日で開館一周年を迎えました。

この図書館は、幼少の頃から読書に親しむことや、親子や友だち家族等とのふれあい促進を目的に設置しています。一周年にあわせて「大切な人に読んであげたい絵本」コンクールや「お話の部屋スペシャル」などを開催し、読書活動の促進に努めています。

■利用の状況は

開館後の一年間の利用者数は、約一万一千人とこれまでの図書室より3.7倍の利用率になっています。

図書室には、一般図書とこども図書の二つのコーナーがありますが、親子で一緒に利用される方も多くあるなど、こども図書コーナーの利用者の割合が全体の64%となっています。

■一周年記念事業を開催

「お話の部屋スペシャル」子どもたちがいっぱい!

読書を通じた親子のふれあい交流などに繋がっているものと思います。これからも家族や友だちグループ、各団体など、多くの皆さんの利用をお待ちしています。



10月27日（土）に記念イベント「お話の部屋スペシャル」を開催しました。町内の保育園、児童クラブの6団体を始め、たくさん親子連れなど、約180名の参加者で立ち見が出る盛況ぶりでした。

スペシャルでは、県内各地のおはなし会で活躍されている東市来町の



板井さんの紙芝居

こけけボランティアの紙芝居屋さん板井昭夫さんの手作りによる紙芝居がありました。その語り口は、昔の懐かしい紙芝居を思い出させるもので、熱心に聞き入っている子どもたちの姿を見て、テレビ世代の子どもへの情操教育にも素晴らしい効果があることを、改めて実感いたしました。

■表紙の写真説明

まげ
鬘踊り（船木西壮年団）



11月18日、さつまフェスタで鬘踊りが披露されました。この踊りは、慶長年間の頃、島津家第17代当主島津義弘公の朝鮮出兵の戦勝祈願・凱旋祝いとして踊り始めたと伝えられています。現在では、3年に1回、船木地区の豊年祭に奉納されています。



▶人形劇「赤ずきんちゃん」



▶和気さんのペーパーマジック



また、図書ボランティア和気由美さんによるペーパーマジックと図書館スタッフによる人形劇「赤ずきんちゃん」も上演され、参加者全員が温もりに満ちた時間を過ごしました。

「さつま町ちゃん」もお祝いに駆けつけ、大人気で子どもたちの記念撮影に長い列が出来ていました。

絵本は友だち!

こども図書館には、たくさんの絵本があります。いつまでも心に残り、大切な人をつなぐ、大事な一冊を見つけてみませんか!



図書館（室）職員 おすすめの絵本

お子様と一緒に読んでみませんか。

こども図書館

- ・あらしのよるに（あべ弘士 絵）講談社
- ・おひめさまようちえん（のぶみ 作）えほんの杜
- ・その気になった！（五味 太郎 作）絵本館

屋地楽習館図書室

- ・おれはねこだぜ（佐野洋子 作・絵）講談社
- ・しんかんくんのクリスマス（のぶみ 作）あかね書房
- ・どこへいくの？ともだちにあいに！（いわむらかずお 作・エリック・カール 作）童心社

鶴田中央公民館図書室

- ・ねえ、ほんよんで！（レイン・マーロウ 作・絵）徳間書店
- ・くまのこうちょうせんせい（いもと ようこ 絵）金の星社
- ・きつねのかみさま（酒井 駒子 絵）ポプラ社

今後の図書室のイベント

お話の部屋スペシャルin鶴田クリスマスバージョン
開催日：平成24年12月22日（土）午前10時
会場：鶴田中央公民館

※サンタクロースがやってきます



本とめぼう



全国おはなし隊

講談社のキャラバンカーが、絵本をいっぱい積んで、さつま町にやってくる～。

- ・平成25年1月13日（日）
鶴田中央公民館 15時30分から
- ・平成25年1月14日（月）
屋地楽習館 10時00分から
- ・平成25年1月19日（土）
こども図書館 10時00分から

※各会場1時間程度
※事前申込みの就学時から小学生までのお子様にはお土産（「ダレ・ダレ・ダレダ」のミニ絵本等）があります。

イベントお問い合わせ先 社会教育課社会教育係 ☎53-1733

こども図書館一周年記念特集

「大切な人に読んであげたい絵本」コンクールを開催

こども図書館一周年記念事業として、今までに読んだ絵本で、心に残った絵本を自分の大切な人（家族等）に内容やエピソードを紹介する形式で書いた作文コンクールを募集しました。応募総数も710点と大変多く、家族や友だちなどへの気持ちを綴った、心うたれる作品が多くありました。

この中から選出された各部門の最優秀賞受賞者5名に、当日のイベント時に東教育長から賞状と図書券が贈られました。



初田さん 西園さん 新屋敷さん 宮さん 岡留さん

【入賞者一覧】（敬称略）

部門		入賞名		氏名		作品名		学校名等	
小学生未満	最優秀賞	初田	心和	ねずみのいもほり	佐志保育園	6歳			
小学生未満	優秀賞	龍造寺	結心	あかたろうの1・2・3の3・4・5	太陽保育園	4歳			
小学生低学年	最優秀賞	北園	晶之	しょうぼうじどうしゃじぶた	宮之城聖母幼稚園	6歳			
小学生低学年	優秀賞	森脇	楓	おおきくなあれ	上宮保育園	5歳			
小学生低学年	佳作	尾付野	晃司郎	いいからいいから4	柘野小学校2年				
小学生高学年	最優秀賞	新屋敷	美優	たいせつなあなた	流進小学校3年				
小学生高学年	優秀賞	折小野	未海	ヒメちゃん	流水小学校2年				
小学生高学年	佳作	小田原	帆音	いのちをいただく	山崎小学校6年				
中学生	最優秀賞	宮	克幸	こいぬのうんち	永野小学校5年				
中学生	優秀賞	逆瀬川	朋佳	いのちは見えるよ	中津川小学校4年				
中学生	佳作	柳田	ひかり	ながいよ、かなえ	宮之城中学校3年				
一般	最優秀賞	岡留	紀子	ジャッキーのたからもの	薩摩中学校2年				
一般	優秀賞	前畑	真弓	ふしぎなだけのこと	宮之城中学校3年				
一般	佳作	南	万里子	わたしのいももち	大願寺公民会				
一般	佳作	菊永	美樹	いないいないばあ	屋地馬場公民会				
一般	佳作	南	万里子	わたしのいももち	上向中公民会				



1 ねずみのいもほり

佐志保育園 是枝たけし

わたしは、こころがここにこなるほんをみつけたよ。それは、「ねずみのいもほり」だよ。みんなであちからあわせてがんばるなつこたち。いもほりたいたいで、いちばんになったところが、とつともうれしかったよ。おおきなおいもをけすつて、ふねにしたところは、いいかんがえだなとおもったよ。わたしはちも、ちからをあわせて、ねずみのきょうだいにまけないくらい、すてきなきょうだいになろうね。そして、おとうさんとおかあさんをたぐさんようこばせようね。

2 おおきくなあれ

柘野小学校2年 にしそのり子

わたしが、おとうとに読んであげたい本は、二年生の教科書ののっている「おおきくなあれ」です。おとうとは、まだ一才なのでお話は分かりませんが、「おおきくなあれ。」を読んであげると、手・足をバタバタとこかしてよるこびます。

おかあさんが、「はびべほのこはが、すきだからよろこぶんだよ。」と言っている。だから、そんな絵本をさがして読んであげたいです。

3 たいせつなあなた

求名小学校6年 新屋敷 美優

わたしは、この本をいここに読んであげたいです。この本は、どんな人にもよいところがあって、その人にしかない輝きがある、だから、いなくてもいい人はいないんだよ。ということ伝えてくれるお話です。

いとこは、いつも兄弟げんかをしていて、わたしは、二人を仲直りさせる役です。いつも「やめなさい。」と言っただけだったけど、今度は、この本を読んで、二人いっしょじゃないとできないことがたくさんあることを伝えたいです。これは、兄弟がいいなって、ちよつとつらやましい、一人っ子のわたしからのメッセージかもしれません。

4 こいぬのうんち

宮之城中学校3年 宮 克幸

この本は「あなたはあなたほかの人と違って当然。違うからこそすばらしい。」そんなことを静かな深い声で語り共に考えさせてくれる本です。

この本の物語は、しろという犬のうんちが主人公でうんちはすずめやつちくれ達から「汚い」と言わればかりにされ、「ほくは汚いうんちでなんの役にたたないんだ。」と泣きわめいて落ち込んでばかりでした。

ある雨の日、たんぼほの芽が顔をだしました。たんぼほはうんちに「僕のこやしになって」とお願いをし、「うんちは生まれて初めて役に立つことができます。そしてあなたがい春の日にきれいな花をさかせました。

ちっぽけで泣き虫でもいつかは輝くことができるという事を教えてくれるこの本を、僕は、落ち込んだり元気をなくした友達に読んであげたいです。

5 ふしぎなだけのこと

岡留 紀子

この春、私達家族はこのさつま町へ引越して来ました。家が落ち着くと必ず最初に行く場所があります。地元図書館です。新しく住む場所の事を知る手掛かりを探す為です。

娘と絵本棚を眺めていると、この絵本が目にとまりました。竹の町と「ふしぎなだけのこと」という題名が繋がったからです。表紙を見て、雲を突き抜ける大きな竹の子とは、どんな物語かと娘を膝に乗せて読んでみると、「やまの おくの おくの……」という書き出しで、まるでこの町の昔話のような物語に驚きました。山に囲まれた町、綺麗な川、美味しい野菜や果物、温かな人々、まさにこの絵本に描かれている所に私達は住むことになったと実感しました。

これから、さつま町に移り住む方に紹介したい絵本です。この一冊を読めば、あなたもこの町にずっと住み続けたいなる事でしょう。

3 たいせつなあなた



1 ねずみのいもほり



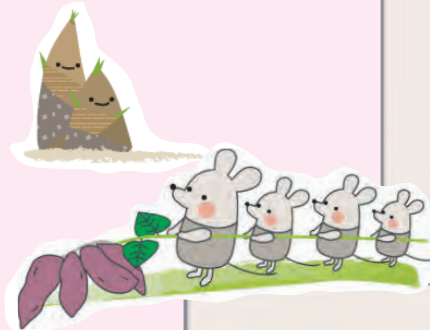
4 こいぬのうんち



2 おおきくなあれ



5 ふしぎなだけのこと



「絵本コンクール」の入賞作品の絵本は、こども図書館でコーナーを設けて、展示しています。(貸出しOK)

「日高町のマニフエスト（政策公約）」につきましては、4つの戦略宣言

①元気な農林・商工業のまち宣言

②子ども健やか育成宣言
③大胆改革さつま宣言
④安心安全さつま宣言
や8項目のプロジェクトを掲げ、この全ての分野の事務事業に着手し、取り組みを進めてきています。

平成23年度には既に事業完了したのものも含め118事業へと事業拡大をし、本町の発展可能性（ポテンシャル）をさらに発揮できる環境整備に積極的に取り組んでいるところ

です。昨年度及び本年度の主な取り組みについて報告します。

①元気な農林・商工業のまち宣言

○町、JA、県によるワンフロア化により農業の担い手確保と育成を図り、集落営農の推進について、よりスピード感を持った対応に取り組んでいます。

○平成23年度は、柘野・紫尾・津川で農作業受託組合が結成されました。営農組合の法人化についても積極的に支援を行い、一ツ木が法人化されました。

○農業の6次産業化（農産物生産・加工・流通販売）を推進するために、平成23年度に創設した「農産物加工施設整備事業」では、3件の加工グループ等に助成をしました。

○グリーン・ツーリズムでは、グリーン・ツーリズム研究会（会員45名）を中心に、各種の体験学習を主催するなど積極的な受け入れ活動を支援しています。

○平成23年度は、新たに修学旅行の受け入れを2件（山口県、広島県）実施しました。

○本町物産・観光PRのトップセールスを県内外で積極的に実施しました。

○家畜市場購買者の増加、子牛価格の維持向上と町内宿泊施設への利用者増加及び地域経済の活性化を図る目的で、家畜市場購

買入に対する宿泊費助成を平成24年度から開始しました。

○一割のプレミアム付商品券を年2回発行し、購売力の増進に努めました。

○平成23年度から旅館業等施設整備事業をスタートし、これまで3件補助を実施しました。

○竹林改良整備促進による早掘たけのこ産地育成のため、竹チップ工場出荷への上乗せ助成を実施しました。

○農林産物に対する鳥獣被害対策として、猟友会の協力による捕獲や電気柵補助に加え、箱ワナの整備5機、サル生息状況調査（1匹に発信機を付け行動調査）、鳥獣追い払い花火無料支給等を実施しました。今後は、サルの生息状況、行動等の実態解明による対応を図っていく計画です。

○新たな町づくりイメージの展開と知名度アップを図るため、町のイメージキャラクター「さつまちゃん」やロゴマーク、キヤッチフレーズを決めました。「さつまちゃん」は、本年度から本格的な活動を開始しています。



③大胆改革さつま宣言

○町長給料の20%カットについては、就任年度から毎年度一貫して取り組んでいます。

○また、副町長5%、教育長3%の給料月額削減も継続して実施しています。

○職員数、給与の削減に努めています。

○長期借入金的大幅削減に努め、基金（貯金）の造成に努めています。

○地域主権改革が進展する中、より身近な行政サービスの提供を目指し積極的に権限移譲を受けています。平成23年度から旅券（パスポート）の申

請受付、交付事務を本庁で開始し、多くの皆様にご利用をいただいています。

○役場町民課窓口業務のスムーズな対応を行うために「自動発券機」を導入しました。

○住民サービス向上、安全安心の防災拠点施設となる新庁舎建設については、平成23年度に地質調査、基本設計、実施設計を終え24年度から本格着工となりました。

○町政に町民の声を反映するため、町政座談会、町づくりフォーラム等の積極的開催に努めました。



④安心安全さつま宣言

○家庭内での火災の発生をいち早く知らせる住宅用火災警報器については、平成23年度末で設置率約95%であり、今後普及啓発に努めていきます。

○危険廃屋等の解体助成を創設しました。

○住宅用太陽光発電設置助成を創設しました。

○非常時の要である消防団の後方支援として、町内23分団全てに消防災害支援隊を組織しました。

○懸案であった川内川激特事業は6年間の事業期間（一部繰越）を経て、最後の橋梁改修及び一部築堤工事により一連の事業が無事完成します。来年2月には「災害復興祭」を計画しています。

○洪水時における内水対策については、水中ポンプ12基の導入を図り、平成23年度には5箇所に事前設置の対応を行いました。設置に当たり職員や協定による協力業者等の設置訓練を実施しています。

○学校施設の耐震化については、平成26年度には町内全ての小中学校施設の耐震補強を完了する予定で、国の目標より1年早く完了することとなります。

○地域コミュニティバスの効率性を高め、交通空白地の解消を図り、また新たな交通の利便性を高めるために、平成23年度から乗合タクシーの実証運行を開始しました。



②子ども健やか育成宣言

○町全体で健康を意識し、健康づくりを進めることを目的に平成24年度から「健康さつまポイント事業」を開始しました。

○就学前医療費無料化を実施しました。「児童生徒入院医療費助成制度」は、児童生徒の入院医療費を全額無料化する制度で、22年度5件、23年度は10件の利用実績となりました。

○予防ワクチン（肺炎球菌やヒブ等）接種費用の無料化も開始し、定期予防接種では、6割から8割超の接種率ですが、任意予防接種率についてはまだまだ低い状況です。

○未来を担う健やかな子どもの誕生を願い、妊婦健診の充実を図るとともに、平成24年度から「妊婦歯科無料健康診査事業」を開始しました。また、不妊治療の助成も始めました。

○町内における児童デイサービス事業の新規開始に伴い支援をスタートさせたほか、子どもの療育に関する様々な支援体制の構築に取り組んでいます。

○「早寝・早起き・朝ごはん運動」は、モデル校による研究を進め、独自に「早寝・早起き・朝ごはんソング」を創作するなど、小学校を中心に積極的な取り組みを進めています。今後は、カレンダーや生活ノート、講師による学習機会の拡大など取り組みのための研究を進めていきます。

○ブックスタートの実施のほか県内初めての「こども図書館（えほんの森）」は平成23年10月27日に薩摩支所内にオープンしました。今年9月には入館者が1万人を突破しました。



旧宮之城中学校跡地のメガソーラー設置事業者が決定しました

町では、旧宮之城中学校跡地にメガソーラーを設置する事業者を提案公募により募集しました。その結果、県内2社を含む4社から企画提案書が提出され、役場内のプロジェクトチームによる審査の結果、株式会社大林クリーンエナジーを設置事業者として決定しました。

設置事業者の決定を受けて、メガソーラー設置に係る基本協定書を11月28日に締結しました。事業概要は次のとおりです。

基本協定締結式



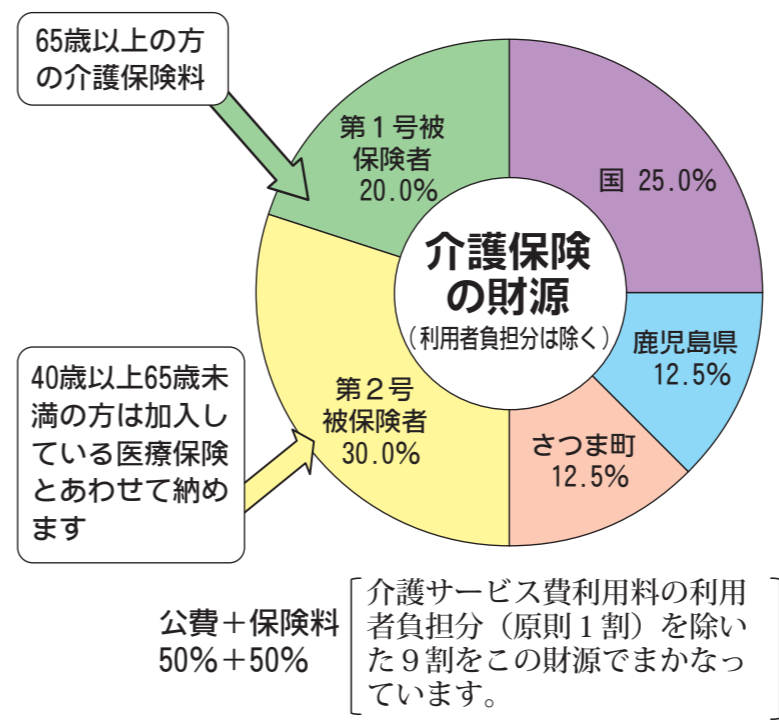
締結式で握手する日高政勝町長（左から3人目）、入矢桂史郎（左から2人目）、大林クリーンエナジー代表取締役（左から2人目）、運輸賢治（左から2人目）、大林組技術本部副本部長（左）、中尾正男議会議長

設置場所	薩摩郡さつま町宮之城屋地字峯下1442番地外3筆
敷地面積	44,086㎡（内 平面面積 34,000㎡）
設置事業者	株式会社 大林クリーンエナジー
設置事業者住所	東京都港区港南2丁目15番2号
出力計画	2,629kw
年間発電量	286万1千kwh（一般家庭約700戸分に相当）
発電開始日	平成25年9月頃
賃貸期間	平成25年4月1日から平成45年3月31日まで（20年間）

※メガソーラー……1000kw以上の大規模な太陽光発電施設

介護保険事業は40歳以上の方が加入者（被保険者）となつて保険料を出し合い、介護が必要になったときに、介護サービスを利用できる制度です。

【介護保険の財源】
 介護保険にかかる費用は、40歳以上の方に納めていただく介護保険料と公費（税金）を財源に運営しています。平成23年度の財源内訳は次のような割合でした。（財源Ⅱ介護保険にかかるサービスの総費用）



65歳以上 1号被保険者（人数は各年度末現在）

年度	1号被保険者数	前年度比
21年度	8,653人	△98人
22年度	8,449人	△204人
23年度	8,349人	△100人

【さつま町の介護認定状況】 平成24年3月現在

- ◆認定者 1,839人
- ◆認定者の平均年齢 84.7歳／男82.8歳、女85.4歳
- ◆認定率（65歳以上に占める割合）22.0%
- ◆認定者の内訳
 - ・後期高齢者（75歳以上）91.4%
 - ・前期高齢者（65～74歳）6.6%
 - ・2号被保険者（40～64歳）2.0%
- ◆認定者の男女比 男25%、女75%



【平成23年度実績】

平成23年度は、報酬の増額改定やサービス需要の増加により介護サービスにかかる給付費用が増加した結果、3年ごとにたてる事業計画の見込額を大きく上回ったため、県財政安定化基金から4,500万円借入れをしました。この借入れ金は、平成24年度から3年間で返済することになります。

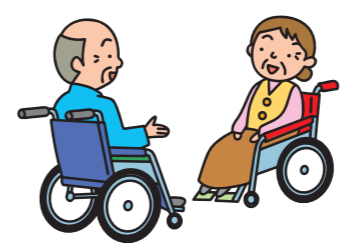
下表の実質収支が74,243千円の黒字となっていますが、前記借入れや国県支出金等の精算を行うと、実質的には約6,054千円の赤字となります。

◆決算額 単位：千円

	22年度	23年度
歳入総額	2,797,206	2,882,304
歳出総額	2,747,318	2,808,061
実質収支	49,888	74,243

◆保険給付費の支出状況 単位：千円

区分	23年度
介護サービス費	2,313,940
在宅サービス費	768,464
施設サービス費	1,251,521
地域密着サービス費	293,955
介護予防サービス費	174,853
介護予防サービス費	173,140
地域密着サービス費	1,713
審査支払手数料	3,361
高額介護サービス費	63,629
特定入所者サービス費	138,957
保険給付費合計	2,694,740



【介護度別のサービス利用者の状況】

サービス利用者の認定者に対する割合は、平成24年3月現在で、認定者の81.3%（1,495人）が介護サービスを受けています。また、認定者の53.2%（979人）が在宅でのサービス受給者です。なかでも要介護2以上の中重度の在宅サービス受給者は、認定者の21.7%（399人）となっています。

介護度別のサービス利用者の状況／平成24年3月現在 (単位：人)

区分	サービス利用者					合計	認定者数	未利用者
	居宅介護	地域密着	老人福祉	老人保健	療養型			
要支援1	188	2	0	0	0	190	276	86
要支援2	204	1	0	0	0	205	266	61
要介護1	188	23	4	4	0	219	268	49
要介護2	196	29	11	22	0	258	308	50
要介護3	112	35	38	46	1	232	265	33
要介護4	63	12	66	38	5	184	203	19
要介護5	28	8	130	21	20	207	253	46
合計	979	110	249	131	26	1,495	1,839	344
比較	53.2%	6.0%	13.5%	7.1%	1.4%	81.3%	100%	18.7%

資料「介護保険状況報告H24-3」から

注1) 地域密着は、グループホーム及び小規模多機能施設のことです。
 注2) 老人福祉は、特別養護老人ホームのことです。

【4大原因疾病】実態調査752例による分類から

- 1位 脳卒中 203人 27%
- 2位 リューマチ等関節疾患 166人 22%
- 3位 認知症 136人 18%
- 4位 骨折・転倒 111人 15%
- 5位以下（5%以下）心臓病・精神疾患・難病・呼吸器疾患・老衰と続きます。

注) 1位～4位が全体の82%を占めます



【基本チェックリスト】

町では、住民の皆さんの介護予防に役立てるため、「基本チェックリスト」と「介護予防のための生活実態調査案」を配布しました。基本チェックリストは、心身の状態をチェックできるように足の筋肉など運動器に関することや食生活など栄養に関すること、歯などお口の健康に関することなど25項目について、「はい」「いいえ」で答えていただくものです。

町では、回答していただいた「基本チェックリスト」等をもとに、介護予防の取り組みが必要と思われる人を決定し、対象者に対して後日、介護予防教室の案内などさせていただきます。

いつまでも自分らしく自立した生活を送れるように「介護が必要にならない」「悪化させない」介護予防の取り組みを始めましょう！

【予防事業にかかるチェックリスト調査結果】

平成23年度は、さつま町全体で下記のとおり結果になりました。
 平成23年度の介護認定者を除く予防事業にかかるチェックリスト対象者については、回答数が5,001人（回収率81%）と高く、うちチェックリストによる選定者は延べ3,806人（重複あり）でした。

チェックリストによる2次予防対象者（重複あり）／平成23年調査

区分	運動機能	栄養改善	口腔機能	閉じこもり	もの忘れ	うつ	計（重複あり）
選定者	1,219人	51人	741人	220人	738人	837人	3,806人
比較（出現率）	24.4%	1.0%	14.8%	4.4%	14.8%	16.7%	—

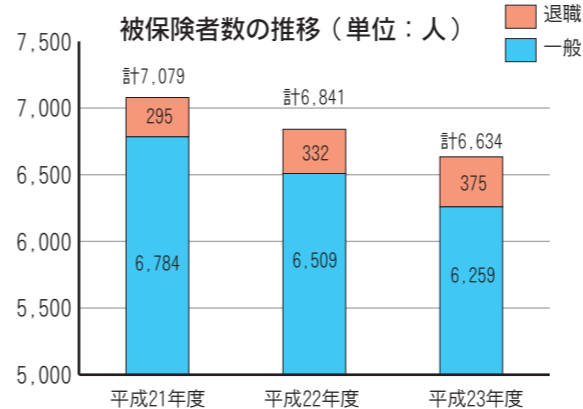
比較欄は、回答者数に対する区分毎の割合（出現率）
 注）基本チェックリストは要介護等認定を受けておられない65歳以上（平成23年4月1日現在）の人に郵送しました。

年間医療費 42万8,307円 (国保一人平均)

本町国民健康保険の医療費についてお知らせします。
国民健康保険制度は、加入者の保険税と公費(国・県・町)負担で賄われています。限りある医療費です。医療費の節約にご協力をお願いします。

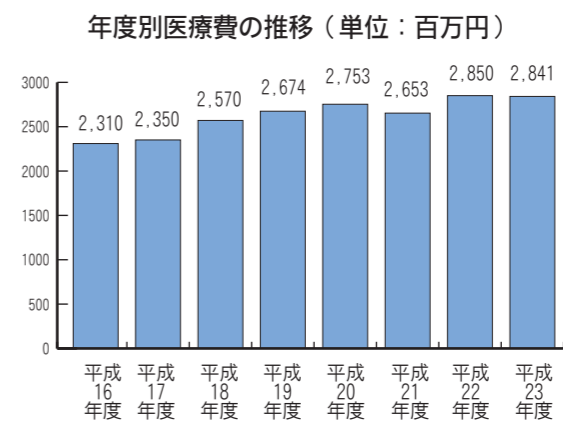
1 被保険者数は減少傾向

国民健康保険の被保険者数は、少しずつ減ってきており、町の全人口に占める割合は、平成24年3月末現在では26.9%です。
平成23年度では、一般の被保険者(74歳以下で退職を除く)6,259人、退職(主に会社などを退職されて国保に加入された方)375人の計6,634人となっています。



2 年度別医療費の推移

さつま町国民健康保険の総医療費は、平成23年度で28億4,138万円余りとなっており、前年度と比較すると0.3%の減となっています。一人当たり医療費は、42万8,307円(一般41万8,183円、退職59万7,283円)となっています。特に、退職が40%近い伸びを示しています。これは、「生活習慣病の増加」、「医療技術の高度化」、「高齢人口の増加」などが考えられます。



3 疾病(病気) 分類別医療費

使われた医療費について、大分類疾病ごとに見てみましょう。平成23年10月診療(入院+入院外)分でみると、1億9,188万3,120円が使われ、第1位が「循環器系の疾患」、第2位「精神及び行動の障害」、第3位「新生物」の順となっています。

- 1位:** 循環器系の疾患 (高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など)
- 2位:** 精神及び行動の障害 (統合失調症、神経症性障害など)
- 3位:** 新生物 (胃がん、肺がんなど)
- 4位:** 腎尿路生殖器系の疾患
- 5位:** 消化器系の疾患

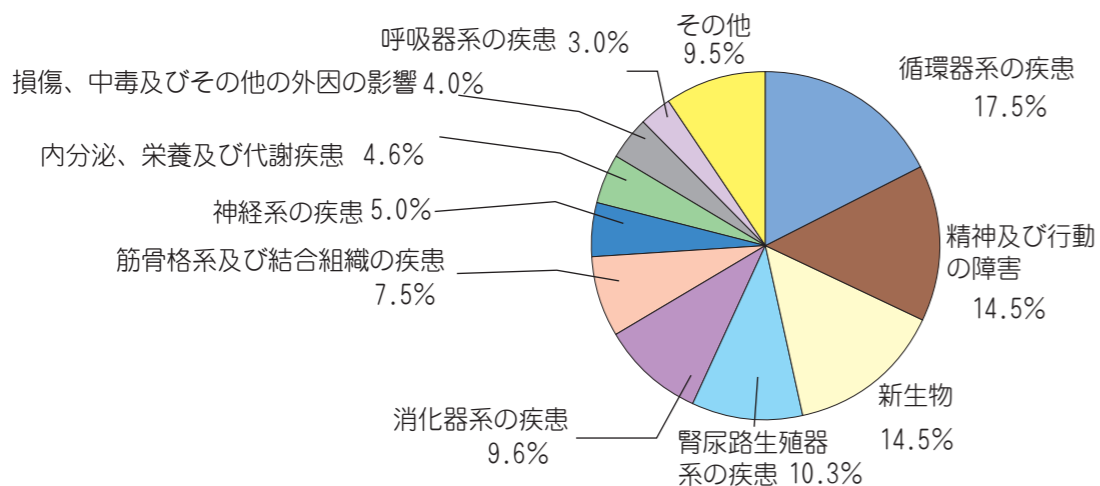
1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ! ~生活習慣を見直し、健康を守ろう!~



からだ改善教室 (正しい歩き方教室)



からだ改善教室 (男性のための料理教室)



4 生活習慣病に対応した健康診査

さつま町国民健康保険では、各地域ごとの集団健診を基本に、指定医療機関(平成24年度はさつま町及び薩摩川内市の67医療機関)で特定健康診査を実施しています。
特定健康診査の受診率は、平成22年度が46.1%、平成23年度は53.9%となっており、国の受診率基準値65%には遠く及ばない状態です。
特定健康診査は皆様の生活習慣病の予防と健康の保持・増進のために実施するものであり、年に1回の特定健康診査・特定保健指導を必ず受けましょう。

5 医療費を節約するには

年々医療費は増加傾向にあり、今後も増えていくことが予想されます。医療費が増加すると、国民健康保険の財政を圧迫し、国民健康保険税の改正が必要となってきます。私たちが、医療の受け方を少し見直すだけで医療費を節約することができます。

からだ改善教室 (リンパマッサージ教室)



① かかりつけの医師を持ちましょう。

医師を信頼し、指示を守りましょう。不安や疑問があれば、きちんと相談しましょう。

② 急病以外は、夜間・休日の受診は控えましょう。

安易な重複受診や頻回受診等いわゆるコンビニ受診の増加は、勤務医師の過労等を招き、医師不足につながるおそれがあります。

③ お薬手帳を活用しましょう。

投薬の重複による体への負担や副作用を防ぐことができます。

④ 薬は用量・用法を理解して正しく使いましょう。

薬は適切な用量・用法を守って効果があります。自分の判断で量を加減したり中止したりすると、薬が効かなくなったり、体に悪影響を及ぼしたりする場合がありますので、指示された用量・用法を守って、正しく使いましょう!

■ お問い合わせ先
健康増進課 保険係
電話(53) 11111
(内線2141)

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

さつま町内の「川内川激甚災害対策特別緊急事業」と「鶴田ダム再開発事業」の
工事施工箇所（平成24年11月5日現在）

【国土交通省関連工事】

《鶴田ダム再開発事業関連工事》

- ①神子地区
 - ・施設改造工事・増設減勢工工事
 - ・上流仮締切工事
 - ・制水ゲート工事（2件）
 - ・放流管工事（2件）

【県北薩地域振興局関連工事】

《激特事業関連工事》

- ①山崎地区
 - ・築堤護岸工事（1件）
 - ・山崎橋工事（2件：取付道路、舗装）
- ②虎居、宮之城屋地地区
 - ・宮都大橋工事（5件：取付道路、高欄、照明、舗装、親柱）
 - ・宮之城橋工事（1件：護岸）

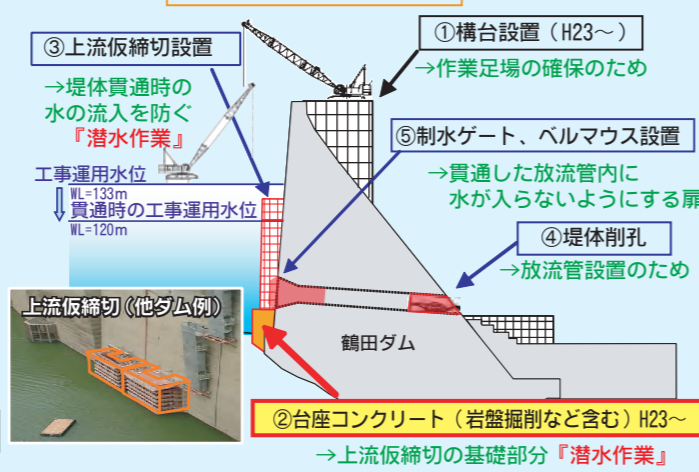
《今月の現場写真》 ～鶴田ダム再開発事業の進捗状況をご紹介します～

現在、ダム堤体下流側では、増設減勢工（放流水の勢いを弱める水路施設）の基礎掘削、コンクリート打設を、上流側（貯水池側）では、増設放流設備及び付替発電管設置の穴を開けるために必要な上流仮締切の台座（土台）の施工を引き続き行っています。上流仮締切の台座の施工は、写真-1のようにダム天端から型枠を吊り上げ、写真-2のように貯水池の台船からも調整しながらダム湖底に設置し、その内部にコンクリートを打設します。その後、土台の上に仮締切ブロックを設置するという流れになります。

【お知らせ】鶴田ダム堤頂の通行止めを行っており今後も続く予定です。鶴田ダム管理所ホームページをご確認ください。各種団体、ご家族などの再開事業現地見学が出来ます（土日を除く）。下記のお問い合わせ先へご連絡下さい。



工事の施工順序図



■お問い合わせ先■

●国土交通省 川内川河川事務所 TEL (0996) 22-3271
鶴田ダム再開発事業に関すること 開発工務課
激特事業に関すること 工務課
川内川河川事務所HP URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>

●鹿児島県北薩地域振興局 建設部
土木建築課 道路建設第2係
TEL (0996) 25-5289



西順一郎先生による講演

知識が深まりました 感染症等予防研修会

11月3日、感染症等予防研修会が宮之城ひまわり館で開催されました。これは、予防接種に対する知識の普及啓発、子どもの感染症時の登園・登校基準や食中毒の知識及び予防策に対する町民の正しい理解と認識を深め、町民の健康を促進することを目的に、今回初めて開催されたものです。当日は、健康づくり推進員、母子保健推進員や保育所、小中学校関係者、社会福祉施設の関係者をはじめ研修会に関心のある町民150人が参加しました。

研修会では、郡医師会予防接種担当理事の相良久治先生の座長のもと、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野教授西順一郎先生から「子どもの感染症の予防」ワクチンと登園・登校基準」と題して基調講演が行われ、その後鹿児島県川内保健所長松

予防接種についてのお話

★予防接種って 必要なの？



予防接種はこれまで、多くの疾病の流行防止に大きな成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど、感染症対策上極めて重要な役割を果たしてきました。現在、疾病の流行が目に見えず、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちとなっています。

しかし、予防接種で防げる病気が根絶したわけではありませぬし、日本にはなくなつたとされている病気でも、世界の国々ではいまだ日常的に感染を繰り返している病気もあります。予防接種の接種率が低下してしまうと、こ

龍治先生から「食中毒の基礎知識と予防策」食中毒から身を守る」と題し指導講話がなされました。

参加者の中には、時折頷きながら熱心にメモを取っている姿も見受けられました。

また、それぞれ講演の最後には質疑応答があり、会場からは登校基準の考え方や感染症予防の具体策について質問があり、活発なやり取りがなされました。

参加された町民は、予防接種・食中毒に対する基礎的な知識を習得することができました。

また、それぞれ講演の最後には質疑応答があり、会場からは登校基準の考え方や感染症予防の具体策について質問があり、活発なやり取りがなされました。

参加された町民は、予防接種・食中毒に対する基礎的な知識を習得することができました。

★では、予防接種には どのようなものがあるのでしょうか？

またお子様の中には、将来、医療関係の道へ進む方、海外へ留学される方、様々な道に進まれる方がいらっしゃるでしょう。実はその際、予防接種の履歴が必要となってくる場合があります。

受けられる時期に、受けられる予防接種は是非接種するように心がけましょう。



予防接種には、予防接種法で年齢枠が決められ、接種努力義務（受けるように努めなければならない）とされている『定期予防接種』と、予防接種法では決められていない接種者の希望により受けることになる『任意予防接種』があります。

たとえば…

- 定期予防接種
4種混合（DPT・IPV）ジフテリア百日咳破傷風不活化ポリオ、三種混合（DPT）ワクチン（ジフテリア百日咳破傷風）、ポリオワクチン、麻しん風しん（MR）混合ワクチン、日本脳炎ワクチン、BCGワクチン
- 任意予防接種
小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワク

★予防接種を 早い時期から 考えてみましょう。

これら各予防接種は受けられる期間・回数がそれぞれかわってきます。また乳幼児期には短期間に色々な種類の予防接種を受けることになり、まずは医師とスケジュールを相談し計画的に実施していくことが大事です。病気の発症リスクが高まる前に早めに接種することも必要となってきますので、決して早すぎる事はありません。大事なお子様のためにも是非予防接種について早くから考えてみてください！

なお、接種費用については、定期予防接種の場合、全額無料（公費）で接種することができます。任意予防接種の場合は、基本的に自費となりますが、「小児用肺炎球菌ワクチン」「ヒブワクチン」「子宮頸がん予防ワクチン」は無料で接種できます。

また「おたふくかぜワクチン」「水痘ワクチン」につきましては町から一部助成を受け接種することができます。詳しくは役場健康増進係までお問い合わせください。

■お問い合わせ先
健康増進課健康増進係
TEL (53) 1111 (内線2144)

(2) 公の施設の管理のあり方

効率的な施設運営に努めます

本町が所有する公の施設（住民の一般的な共同の利用に供する施設）については、旧町における住民ニーズに基づき設置されたものでありますが、通常の維持管理に加え、経年劣化等による修繕や改修を含む施設管理経費が年々増加傾向にあります。

町では、限られた財源の中、町民の貴重な財産を有効に活用し、効率的な施設運営に一層努めていくことは、持続可能な行財政運営のために避けて通れない事項と捉え、町の規模や状況に相応しい施設のあり方や効率的管理のあり方を再検討するために、庁内に検討委員会を設置し検討を進め、一定の方向性を定め、議会特別委員会及び本審議会へ報告し意見を伺いました。

◆◆審議会における主な質疑応答◆◆

- Q1) 公共施設については、民間委託や指定管理者制度を取り入れた管理委託をされているが、指定管理料など節減の方向にあるか。
 A1) 基本的には5年間の指定期間を設けて指定管理者を決定している。指定管理料については、協定に基づき債務負担行為を設定して5年間の指定管理料が超えることのないようにしている。
- Q2) 経済構造特区について、本町での状況は。
 A2) 特区については、町に問い合わせが2件あったが、いずれも取り組みまでには至っていない。
- Q3) 土地開発公社が保有している分譲宅地等の状況は。
 A3) 土地開発公社については、経営健全化計画を策定し、計画に沿った取り組みを進めている。定住促進を図る分譲団地では、佐志ニュータウンにおいて、土地代金の20%を助成し、価格を引き下げ販売促進を行っている。残り分譲宅地として佐志ニュータウンは24区画、鶴田赤坂は2区画、湯田原は5区画を保有している。



第2次行政改革大綱（計画期間平成22～26年度）に基づき、簡素にして効率的な行政の実現内容を調査審議するために、平成24年度第1回の行政改革審議会を10月22日に開催しました。
 審議会では、
 (1)平成23年度の行政改革の取り組み状況
 (2)公の施設の管理のあり方
 について審議がなされ、ご意見を伺いました。

(1) 平成23年度行政改革の取り組み状況

質の高い行政サービスを目指します

地方自治体を取り巻く環境は、地方分権の進展、少子高齢化の急速な進行、生活圏域の拡大と行政ニーズの多様化、国、地方を通じた危機的な財政状況など、大きくかつ急激に変化しています。

このような中、本町では住民に最も身近な基礎自治体として、これらの環境変化を踏まえ、自らの責任と判断により、質の高い行政サービスを持続して提供することを目指していくため、第2次行政改革大綱に基づき、4つの柱14の推進項目を掲げて38の事業に取り組んでいます。今後においても、急激な環境変化にも適切に対応していくために、常に最新の情報を掴みながら、経営感覚に優れた取り組みを更に進めて参ります。財政改革の取り組み状況では第1次行革から更に改善傾向にあります。

数値で見る財政改革の成果

①当初予算及び決算規模の推移（各年度黒字決算） (単位：百万円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
当初予算（歳入歳出）	15,199	13,813	13,620	12,929	12,765	12,840	12,786
決算（普通会計）	歳入	16,279	16,839	16,319	14,940	15,905	14,966
	歳出	15,684	16,160	15,453	13,932	15,091	14,074
	形式収支	595	679	866	1,008	814	892

②経常収支比率の推移（財政の弾力性75%～80%標準） (単位：%)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
経常収支比率	100.4	98.1	98.2	98.0	91.4	85.8	89.7

③実質公債費比率（18%以下）及び地方債（長期借入金）残高の推移 (単位：%、百万円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
実質公債費比率（3ヵ年平均）	20.2	19.9	19.5	18.5	18.0	16.6	15.5
地方債（長期借入金）残高	23,625	23,007	21,684	20,313	19,070	17,929	16,816

④基金（貯金）の推移 (単位：百万円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
基金総額（貯金）	1,709	1,827	1,981	2,249	2,966	4,117	5,104
うち財政調整基金（災害、経済変動、大規模事業充当）	934	1,114	1,288	1,488	1,819	2,440	2,883

まちづくりフォーラムを開催しました

町では、7月27日と10月19日の2回、まちづくりフォーラムを開催し、縁あって町外から本町に移り住んだ方々から、他市町在住の経験等をもとに、わが町の特徴や課題等について意見交換をしていただきました。委員の方からは、好意的な意見の一方で、改善へ向けた意見等も多く出されました。



【委員の方から出されたご意見】

- 地域の皆さんからは、よく声をかけていただいたり、話をよくしてくださる。
- 当たり前のあいさつをきちんと誰にでも行える地域ですばらしい。
- さつま町産自給率100%の食卓ができる。町外の人から羨ましがられる。
- 温泉の数が多く、泉質もとてもいい。 など
- PR不足、更なる情報発信
- 恵まれた自然環境に子ども達が触れ合う機会が失われている。
- 喫茶店が少ない。
- 地域活動は、地域やまちが潤う必要がある。ボランティアだけでは長続きしない。 など

町では、これら意見を参考に町民が夢と希望の持てる元気なまちづくりに努めてまいります。

新庁舎建設工事がはじまる



庁舎完成予想図

工事の安全を祈願

なお、工事期間中は本庁駐車場がたいへん狭くなり、駐車に不便をおかけします。満車の際は、堀之内製糸工場跡をご利用ください。

また、工事車両等の往来が多くなります。通行の際もご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

今後、新庁舎の進捗状況などは、広報さつま及び町ホームページでお知らせしていきます。町ホームページ

<http://www.satsuma-net.jp/>

※請負業者及び請負金額

大林・本田JV（共同企業体）
12億9276万円

当日は、日高町長をはじめ関係者約60人が出席し、玉串などを捧げ工事期間中の安全を祈願しました。

式では、日高町長が「3町合併からの懸案だったが、幾多の課題を克服する中で進めてきた。町の新しい歴史を開く一歩に、とても感慨深い思いです」とあいさつしました。工期は、平成26年7月までで、同年10月の本開庁を目指します。



刈り初めの儀を行う日高町長

旅フェア2012 さつま町をPR



日高町長によるトップセールス

スを出展して来場者にパンフレットの配付やアンケート調査を行いました。

今回、国土交通省主催の「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2012において「さつま町リバーツーリズムin川内川」が奨励賞を受賞したことを契機に、町の一大イベントであるホテル舟を全国に売り込もうと参加しました。

11月9日から11日までの3日間、東京池袋サンシャインシティで「旅フェア2012（社団法人日本観光振興協会主催）」が開催され、さつま町のホテル舟をPRしてきました。

旅フェアは、全国各地の観光情報を発信する国内最大級の博覧会として全国130の地域・企業・団体が出展し、3日間を通して9万人を超える来場者がありました。

PRには日高町長をはじめ町観光協会、ホテル舟関係者（奥薩摩・二渡）が参加し、ホテル舟をイメージしたパネル、竹ホテルを装飾したブー



参加された皆さんとさつまちゃん



山崎小学校児童による渡り初め

山崎橋・宮都大橋が開通

河川激特事業により架け替え工事が進められていた山崎橋と宮都大橋が開通しました。県道薩摩山崎停車場線の山崎橋は、平成22年3月より橋梁工事が進められており、11月15日、開通式が行われました。式では、工事経過の報告や安全連絡協議会による神事、関係者によるテープカット、くす玉開披後、山崎小学校6年生13名を先頭に渡り初めが行われました。

その後、山崎保育園園児、山崎小学校児童、山崎区、二渡区の女性部による踊りも披露



関係者によるテープカット

露され、集まった関係者は、待ち望んでいた橋の開通を祝いました。

国道267号の宮都大橋は、平成21年3月から迂回路の仮橋設置、平成22年10月から新しい橋の工事が進められ、11月27日、開通式が行われました。

式では、テープカット等の後、轟原公民会の満尾馨さん親子三代を先頭に参加者で渡り初めを行いました。

また、川原町公民会の「川原おんな相撲甚句」と轟原公民会の「轟原鷹踊り」が披露され、式に華を添えました。両橋とも開通後も引き続き旧橋・仮橋の撤去等周辺工事が行われますので、通行の際はご注意ください。

求名分回 消防車交付式



今回更新された最新式消防車

10月16日、消防署において求名分回消防ポンプ自動車の交付式が行われました。

これまでの旧消防車は購入後、20年を経過し、ポンプ性能に劣化が見られたことから、今回最新式に更新したもので

交付式では、和氣副町長から狩宿分団長に交付書が手渡され、「これを機にさらに訓練に励むとともに、地域から火災が発生しないよう予防消防に努めます。」と分団長が謝辞を述べられました。交付式終了後には、車両並びにポンプの取り扱い説明が行われ、参加した団員は熱心に説明を聞いていました。

関西さつま会、故郷へふるさとツアー開催



ご当地キャラ集合

9月21日、23日の2泊3日の日程で、関西さつま会の役員ら16名が「ふるさとツアー」を実施されました。以下、関西さつま会幹事長の市来雄二さんの寄稿を一部掲載いたします。

川内駅から宿泊地の求名に行くまでに、平成18年7月の川内川の洪水の被害も激甚災害対策特別緊急事業によって復旧し、美しい故郷を取り戻しており安心しました。帰郷初日はさつま町主催の「さつま町来町交流会」にお招きいただき郷土料理、芋焼酎そして郷土芸能を堪能しました。二日目は、名所旧跡、軸屋酒造等の見学、三日目は昼過ぎに川内駅から新幹線で帰阪し

第4回関西さつま会 定期総会開催

11月4日、関西に居住するさつま町出身者が集う「第4回関西さつま会定期総会・懇親会」が総勢約四百十名の参加者で開催されました。

当日は、和氣副町長からさつま町の現状報告があり、懇親会では郷土の焼酎「薩摩のさつま」でほろ酔い気分となり郷里の話題に花が咲きました。また、カラオケ大会や、おはら節、炭坑節の踊りなど大盛況に終わり、来年の再会を約束しました。



大いに盛り上がった抽選会の様子

第4回関東さつま会 総会盛大に開催!



最後まで楽しい会になりました

10月14日、新宿の日本青年館において百数十名が出席し、第4回関東さつま会総会が開催されました。

今回役員改選が行われ、新会長には、上大迫清澄さんが選ばれました。

総会後の懇親会では、祝儀の舞、さつま狂句の意味を当てるゲーム、抽選会が行われ最後にみんなで永野小唄やおはら節など輪になって踊り、にぎやかな総会になりました。今後とも関東の地でさつま町応援寄付金（ふるさと納税制度）を通じて貢献して参ります。

（寄稿者 関東さつま会副幹事長 内西克生さん）

クリーン大作戦表彰

宮之城河川敷公園を
綺麗にする愛犬家の会

『小さな親切』運動鹿児島県大会において「宮之城河川敷公園を綺麗にする愛犬家の会」がクリーン大作戦表彰を受けられ、その表彰伝達式が10月24日に轟上水辺公園で行われました。これにあわせて公園の清掃活動も実施されました。

会員の皆さまの努力もあり、河川敷が綺麗に保たれています。今後もみんなのマナー向上と心がけて、誰でも気持ちよく利用できる河川敷を維持して行きましょう。



表彰伝達式の様子



左から波東町高連会長、大平会長、後藤副会長、日高町長

湯田長寿会が全国表彰

湯田長寿会が全国老人クラブ連合会の優良団体に選ばれ、全国大会で表彰を受けました。今回の受賞は、流水小学校との交流や地域奉仕活動の実績が認められたもので、鹿児島県からは唯一の受賞でした。11月7日に日高町長を表敬訪問され、受賞の報告をされるとともに、現在の活動状況や加入状況、今後の活動予定などを話されました。

県代表として羽ばたけ

全国中学バレーボール大会

今年で26回目を迎える全国都道府県対抗中学バレーボール大会の鹿児島県選抜選手と



左から満園さん、橋本さん、古田教諭、帖佐さん

して、宮之城中学校3年生の帖佐吉晃さんと橋本尚大さん、鶴田中学校三年生の満園理奈さんの3名が選ばれました。さつま町からの男子選手の県選抜入りは5年連続で、女子選手は4年ぶりの選抜となります。選ばれた選手たちは、週末行われる厳しい合同練習を経て、12月の全国大会に臨みます。

鹿児島県代表として、3選手の全国大会での活躍を期待します。

なお、第26回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（通称JOCジュニアオリンピックカップ）は、12月25日～28日の日程で大阪府立体育館を中心に開催されます。

美しい歌声と見事な演奏

町小・中学校音楽発表会

第8回さつま町小・中学校音楽発表会が11月14日、宮之城文化センターで開催されました。

子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、伸びやかな歌声や熱のこもった演奏などを披露してくれました。

講師の川薩地区音楽教育連盟会長の加塩和宏先生（鶴田中学校長）から、「どの学校も心が一つになった素直で素敵な発表でした。これからも、もっともっと練習して、たくさん曲を歌ったり、演奏したりしてください。」との講評をいただきました。

子どもたちは発表会を通じて発表のよさを認め合い、よい刺激を受けることができたようです。



中津川小児童による合唱

全国モデル標語・ポスター表彰

求名小学校児童

11月6日、求名小学校において、全国地域安全運動、全国暴力追放運動のポスター・標語の表彰式が行われました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

〔ポスター〕

- 県の入選
 - 小学校中学年の部
 - 銀賞 求名小4年 狩宿 綾華
 - 銅賞 求名小3年 本村 亜希子
 - 小学校高学年の部
 - 銀賞 求名小5年 菊野 夏怜
 - 銅賞 求名小6年 姉川 茉由
- 全国入選
 - 佳作 求名小6年 姉川 茉由



姉川さんの全国入選作品「子どもと女性の犯罪被害防止」



左から狩宿さん、本村さん、山崎さん、姉川さん、菊野さん

〔標語〕

- 県の入選
 - 小学校低学年の部
 - 金賞 求名小3年 山崎 天翔
 - 小学校高学年の部
 - 銀賞 求名小4年 狩宿 綾華
 - 全国入選
 - 佳作 求名小3年 山崎 天翔
- （県で金賞となった標語です）

西部方面総監
感謝状受賞

10月7日にさつま町自衛官募集相談員の川口憲男さんが、自衛官募集功労により陸上自衛隊西部方面総監感謝状を受賞されました。

同氏は、平成8年から旧鶴田町募集相談員、さつま町募集相談員、平成19年からさつま町自衛隊父兄会副会長として、自衛官の募集・広報に積極的に協力し、地域の協力意識の高揚に多大な貢献をされています。

今後も、募集相談員及び父兄会役員としての活躍が期待されます。



感謝状を手にする川口さん（左）

一日保育を体験



園児と楽しくふれあいました

町内各小・中学生及び薩摩中央高校生57名が、町内各保育園（所）の協力をいただき、一日保育を体験しました。

この体験は、将来親となる児童・生徒に、乳幼児とのふれあいを通して、家庭や子育ての大切さについて理解を深めてもらうものです。

参加者は、「園児のみんなを見守るのは大変だけど、一緒に遊ぶのはとても楽しい。」「間違ったことを注意するのは難しく、その子のためにしっかりと教えてあげないといけない」と話してくれました。「園児とのふれあいを通じ、育児の楽しさや大変さ、責任を感じてくれたようです。」

全国地域安全運動
防犯功労者表彰受賞

10月5日、地域安全モニタの狩宿悦男さん（さつま町職員）が全国地域安全運動鹿児島県大会で防犯功労者として表彰されました。

同氏は、地域の防犯活動においてリーダーとして活躍し、地域住民の信望も厚く、少年補導員と防犯モニターを通算26年間勤め、永年防犯活動に尽力されています。

その永年の活動は、地域の防犯に多大な貢献を行っており、今後も更なる活躍が期待されます。



表彰状を手にする狩宿さん

第61回県中学校
駅伝競走大会

11月9日、第61回県中学校駅伝競走大会が指宿市で開催され、川薩地区大会を勝ち抜いた3チームが出場しました。選手たちは、日頃の練習の成果を発揮し、秋の指宿路を他校と競いながら懸命にたすきをつなぎました。

- 結果は次のとおりです。
- 男子（6区間20km）
 - 宮之城中学校 第9位
 - 鶴田中学校 第20位
- 女子（5区間12km）
 - 薩摩中学校 第20位



仲間を信じて一生懸命走りました

さつまだけのこ 初出荷

全国一早い『さつまだけのこ』の初出荷式が、10月25日にJA北さつま本所で開催されました。この時期の『さつまだけのこ』は、超早掘りたけのこととして高値で取引され、主に高級料亭で旬を味わう食材として珍重されています。当日は、生産者15人から約12kgの出荷があり、箱振興会や関係者が集まる中、今年の活気ある生産を期待し東京築地市場に出荷しました。

なお、JA北さつまでは昨年からは『さつまだけのこ』というブランド名で販売されており、今後のブランド定着が期待されます。



東京築地市場に出荷された「さつまだけのこ」



左から小牧さん、鍋田さん、砂子田さん、左近允さん、井手原さん、戸木田さん

商工業後継者に 祝金授与

11月14日、町長室において、商工業後継者祝金の交付式を行いました。

この商工業後継者祝金は、親族が営む商工業を引き継いで経営する商工会員の方に対して支給しております。

今回6人の方に、日高町長から祝金の授与と、商工業繁栄に期待をこめた激励の言葉が贈られました。

- ・小牧 一徳 (酒類製造販売業)
- ・戸木田 康弘 (加工食品製造販売)
- ・砂子田 和宏 (自動車整備販売業)
- ・井手原 清美 (浴接業)
- ・左近允 正志 (建築業)
- ・鍋田 孝 (竹製品製造販売業)

修学旅行受入

10月は2校がさつま町へ

さつま町グリーン・ツーリズム研究会では、修学旅行の受入れを行いました。

10月17日は、大阪府立城東工科高校2年3組34人の生徒の皆さんで、当研究会では初の高校生、また初の日帰り体験の受入れとなりました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、11軒の受入農家に3〜4人ずつ分かれて、稲刈、梅加工、味噌作り、野菜栽培作業などを体験しました。

最初は生徒の皆さんから、「修学旅行で何が楽しくて農業をするの？」との声もありましたが、受入農家とのお別れのあいさつの中で、「思っていたより楽しかった。普



大阪府立城東工科高校2年3組の皆さん



広島市立戸坂中学校2年2組の皆さん

段できない農作業や料理体験を通じて、農家の大変さ、食の大切さを知ることができて良かった。さつま町でいい思い出ができた。」と話してくれました。

また10月30日〜11月1日にかけては、広島市立戸坂中学校2年2組34人の生徒の皆さんが訪れ、初の2泊3日の日程での受入れとなりました。

30日の午後4時前にさつま町に到着した生徒の皆さんは、11軒の受入農家に3〜4人ずつに分かれて宿泊し、翌日は稲刈、竹林作業、野菜栽培作業などの農作業体験や、ピザ作り、菓子作りなどの料理体験、町内の温泉に行くなど、終日「さつま町の田舎暮らし」を満喫しました。

受入農家の一人は、「今回初めて2泊3日の受入れとい

全共・優等賞 3席に輝く!

10月25日から29日までの5日間、長崎県で第10回全国和牛能力共進会が開催されました。

5年に1回開催されるこの大会は、全国の和牛産地が改良進度を競う場で「和牛の五輪」と呼ばれ、「種牛の部」と「肉牛の部」に分かれ、全国38道府県の代表牛480頭で競われました。

さつま町から県代表として「種牛の部」の第2区(若雌の1)に出場した羽子田ひとみさん(虎居)の「はな号」が優等賞3席に、「肉牛の部」の第9区(去勢肥育牛)で、(御徳重和牛人工授精所(山崎)の「順正号」が1等賞に輝きました。

また、同共進会で和牛審査競技会の「女性の部」に参加した羽子田ひとみさんが優秀賞に輝きました。

今回の全共では、本町から2頭の肉用牛を出品することができ、全国に肉用牛産地として広く「さつま牛」をアピールする機会となりました。



優等賞3席に輝いた「はな号」と羽子田ひとみさん(左)

農業後継者に 祝金贈呈

10月23日、町長室において「さつま町農業後継者祝金贈呈式」が行われました。

これは、さつま町に後継者として新規に就農した方に祝金を交付し、就農意欲の向上と、優れた農業経営者の育成を図ることにより、本町の農業の活性化と農村振興に寄与することを目的とし、実施されたものです。

本年度は、次の4人が後継者として就農し、贈呈式において、日高町長から励ましの言葉と、祝金の贈呈が行われました。



左から内山さん、楠元さん、外園さん、豊増さん

- ・豊増 晃正 (34歳) (佐志) 生産牛
- ・外園雄史郎 (18歳) (虎居) たばこ+露地野菜
- ・楠元 伸一 (39歳) (中津川) トマト
- ・内山千恵子 (20歳) (永野) 生産牛+水稲 (敬称略)

観賞用のかぼちゃに描かれたのは熊本とさつま町のご当地キャラ。役場会計課前に展示しました。(提供:新屋敷 浩さん 絵:山内一美さん)

夢の共演!?

県農山漁村女性 活動功労者表彰

11月16日、かごしま県民交流センターで開かれた農山漁村パートナーシップ推進研修会で茶生産に家族で取り組んでいる求名の熊田みゆきさんが県農山漁村女性活動功労者として表彰されました。



表彰状を手にする熊田さん

今回の表彰は、女性の能力発揮や男女共同参画を積極的に推進し、農林水産業の振興や農山漁村の地域づくりに寄与された功績が認められたものです。

熊田さんは、農業経営の発展のため複式簿記、家族経営協定、経営分析を家族で共有することの必要性を地域に広め、活動の定着に貢献されました。

クライムアップツリー! ドングリクラフト体験

森林体験学習

10月28日、さつま町グリーン・ツーリズム研究会と北薩広域公園の合同で「クライムアップツリー体験」、「ドングリクラフト体験」が北薩広域公園で実施され、50人が参加しました。

クライムアップツリーでは、ロープを利用して木に登ったり、登った木から滑車によるターザンを行ったりしました。ドングリクラフトでは、ドングリなどを使ってアート作品を作ったりと森林とのふれあいを楽しめました。

参加した子供たちは、貴重な体験に満足した様子でした。



滑車によるターザンは迫力満点

西郷菊次郎鑑業館長就任100周年記念事業

顕彰剣道大会・顕徳碑例祭・記念式典・記念講演

11月11日、永野小学校を中心に、100年前に永野(山ケ野)金山島津鑑業館長に就任した、西郷菊次郎翁を顕彰する記念事業が盛大に開催されました。

西郷菊次郎先生は、西郷隆盛と愛加那の長子として奄美大島の龍郷町に生まれ、台湾宜蘭庁長や京都市長を勤めた後、永野にあった金山の鑑業館長として電氣を利用した近代化事業の充実に努められました。また、夜学校や柔剣道場を建設し、青少年の健全育成や永野村の発展にも尽力されました。

100周年の記念事業では、永野交流館の庭に建つ西郷菊次郎顕徳碑の大例祭が開催さ



100周年記念式典の様子



福田賢治先生による講演

永野交流館のホールに西郷菊次郎先生の功績と永野金山の資料展示が行われました。オープニングで金山出身初代小牟田流の五ツ太鼓が演奏された後、西郷隆文様(西郷菊次郎氏の孫)、伊藤鹿兒島県知事(代理)、金子鹿兒島県議会議員、武西郷菊次郎顕彰会代表(県議会副議長)、前田霧島市長、川畑龍郷町長を来賓に迎え、永野小学校児童、さつま町民をはじめ、県内外から300人が参加し、記念式典が行われました。

式典の中で、台湾宜蘭県史館館長、京都市長、菊池市長からのメッセージも紹介されました。

記念講演では、「西郷菊次郎先生をしのぶ」と題して、維新ふるさと館特別顧問(前館長)福田賢治先生の講演が行われました。



白熱した試合

賞結果は次のとおりです。(敬称略)

- 団体戦
 - 小学校低学年の部 第3位 さつま剣友会A
 - 個人戦
 - 小学校4年生以下の部 準優勝 大田 一心 (さつま剣友会)

2012がごしまの新特産品コンクール 「菊しぐれ」と「梅三趣羊羹」を出品



出品した「菊しぐれ」

10月12日、消費者ニーズに対応した売れる商品づくりに目を

指す「2012がごしまの新特産品コンクール」が、鹿兒島サンロイヤルホテルで開催されました。本町からは、薩摩西郷梅生産組合の「梅三趣羊羹」とさつま町観光協会の「菊しぐれ」が出品されました。どちらの商品も地域の素材を活用し工夫された商品です。今後は、この商品をPRしながら、販路拡大に努めるといことです。

さつま町 観光カレンダー作成

11月5日、さつま町観光協会(会長 山本求道氏)が作成した2013年版「さつま町観光カレンダー」が、日高町長に200部贈呈されました。



カレンダーを贈呈する観光協会役員

人権啓発標語・ポスター作品審査結果

12月の人権週間にちなんで、町内の児童生徒から人権啓発の標語・ポスターを募集しました。審査の結果、特選に選ばれた児童生徒の作品を紹介します。(敬称略)

〔人権啓発ポスター〕

〔人権に関する標語〕

おもいやる

「こころをもてば

いじめゼロ

紫尾小2年 田しま みか

「ごめんなさい」

どちらが先に

言えたかな

鶴田小3年 下大迫 陽花

しらんぷり

ほんといいの

そのまま

盈進小5年 井上 吏輝丸

勇気ある

あなたの声が

あたたかい

薩摩中2年 前原 汐里



柏原小1年 にいどめ たくま



佐志小2年 ほんど ゆうま



盈進小3年 濱 瑞希



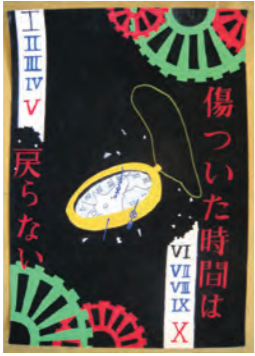
盈進小4年 横山 友人



永野小5年 上別府 くるみ



中津川小6年 前原 理乃



薩摩中2年 豎山 理紗



宮之城小3年 岩下 璃来

バスケットボール 選手がやってきた



味方同士でボールの取り合い?

11月2日、紫尾小学校体育館でバスケットボール教室が開催されました。これは、講師の講話や模範プレーを見ることで、球技のおもしろさや意識の向上を図ることを目的に実施されています。

当日は、バスケットボール元日本代表の永田睦子さんを講師に迎え、基礎的な運動から指導を受けました。子どもたちは、ドリブルやパス、シュートなどを教えてもらいボールに触れて楽しみました。

最後はチームに分かれて試合を行い、「試合には負けたくて楽しくプレーできた。」と感想を述べてくれました。

みんなで広げよう 食育の輪

薩摩西郷梅

11月19日、薩摩学校給食センターでは、地産地消・食育の一環として、永野小学校で生産者との交流給食を実施しました。

この日の給食では、「薩摩西郷梅生産組合」の調味梅干が出され、同組合の牧野光弘理事ご夫妻から梅の生産加工、仕事の苦労や楽しみについて子どもたちに分かりやすいように講話がありました。

4年生の上智寛さんは「梅の栽培にミツバチが大切な役割をしていることがわかりました。」と話していました。給食時間には牧野さんが「生まれて初めて給食を食べます。」と話され子ども達と楽しく歓談されました。



牧野さん夫妻と楽しく給食をいただきました

「我がまちさつま町を知るツアー」開催



宗功寺の伝説に挑戦！墓石の字を全部読めると...

11月4日、さつま町民を対象にしたまちの魅力がたくさん詰まった「我がまちさつま町を知るツアー」が開催されました。

50名の参加者は、町女性いきいき推進会議がおススメする「よくばりコース」と永野金山が発見されたルーツを紐解く「歴史・遺構コース」の2コースに分かれて、地域の歴史・文化などに触れました。紫尾神社・宗功寺公園・永野金山・歴史資料センターでは、今年4月に発足した文化財ボランティアや学芸員による詳しい説明があり、参加者からは「丁寧な説明のおかげで何気なく見ていた文化財が

貴重な財産であることを知りました。」などの声が聞こえました。

午後からはあいにくの雨となり、コースのポイントであった「推込分水路」や「永野金山跡」の時間が短縮となっていました。しかし、「町の素晴らしい」を体感できて良かった、「町の観光コースとして開発してほしい。」という感想をいただきました。

初めての試みとしてツアーを開催しましたが、今後とも町の魅力を町民の皆様を含めた多くの方々に知っていただくよう、町内外に発信する取組みを進めていきます。



ガラス工芸館で「宙吹」体験



紫尾神社で説明に聞き入る参加者



永野金山跡で「さつまたの遺構」を知る

さつままるちゃん 自動販売機登場!!

11月19日、町のイメージキャラクター「さつままるちゃん」などが描かれた自動販売機が「せせらぎの郷二渡」に



お祝いに駆け付けたさつままるちゃんと自動販売機

町内第1号として設置されました。

「南九州ペプシコーラ販売株式会社」様からの提案により、ご当地キャラクターの「さつままるちゃん」とさつま町を広く観光客等にアピールするとともに、憩いの場として提供する目的で設置されたものです。

今後も町内限定で各観光施設やスポーツ施設等に随時設置していきたいとのこと。さつままるちゃん自動販売機是非ご覧ください。



美しい音色に観客はうっとりでした

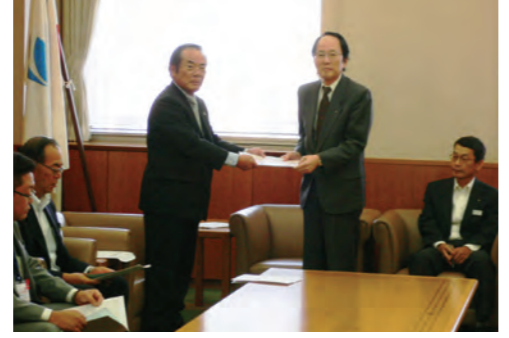
秋夜に響く美しい音色 お月見コンサート

10月13日、北薩広域公園内で「第26回お月見コンサート」が開催され、秋の夜空の下で音楽祭を楽しもうと、多くの来場者で賑わいました。

コンサートには、盈進小学校、鶴田中学校、宮之城中学校、くまきちアンサンブル、BMみやのじよう、宮之城吹奏楽団の6団体が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。恒例の合同演奏は、息のあった迫力のある見事な演奏で皆さん聞き入っていました。

国道328号整備 促進期成会県要望

北薩空港幹線道路 整備促進期成会



山田副知事に要望書を手渡す日高町長

市町村自治会館において、国道328号整備促進期成会の要望活動が、萩土木部次長や関係課長等に対して行われました。

国道328号の整備促進については、さつま町下船木地区から地域高規格道路(国道504号)間の整備促進などを要望されました。

県側は、「南九州西回り自動車道、南薩縦貫道、北薩横断道路の整備を重点的に行ってきたおり、この3つをつなぐ生活路線については限られた財源を効率的に活用するという観点のもと、メリハリをつけた事業推進に努めている。道路事業の総額予算確保に力を注ぎながら、中長期的に対応していきたい。」との回答がありました。

10月31日、鹿児島県庁において、北薩空港幹線道路整備促進期成会による要望活動が、山田副知事や屋島土木監ら関係者等に対して行われました。

地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進について、主に、鹿児島空港から北薩空港道路間及び薩摩道路から泊野道路並びに、紫尾道路から国道3号間の調査区間への早期事業化を、強く要望されました。

また、午後からは鹿児島県

地域高規格道路 「北薩横断道路」 整備促進地方大会

11月6日、さつま町宮之城文化センターで、地域高規格道路「北薩横断道路」整備促進地方大会が北薩空港幹線道路整備促進期成会(会長 日高政勝さつま町長)の主催で開催されました。

この大会は、鹿児島空港か



早期全線開通をめざし参加者全員でガンパロー三唱

ら阿久根市までの「北薩横断道路」の早期全線開通を目指し、地域一体となった要望活動を展開するために開催されました。

当日は、沿線の4市2町(出水市・阿久根市・薩摩川内市・霧島市・長島町・さつま町)から約700名の参加をいただき、国会議員等に対して、それぞれの地域住民の代表の方々から力強いアピールをしていただきました。

また、さつま町立宮之城中学校3年生の片平耀彦さんが未来へのメッセージを読み上げると、会場は大きな拍手に包まれました。

最後に、参加者全員でガンパロー三唱を行い、北薩横断道路の早期全線開通を祈念しました。

CMで町をPR!

KKBBとCM大賞



さつま町のCMの一場面

10月12日、鹿児島市民文化ホールで「第11回KKBBふるさとCM大賞2012」の審査会が開催され、さつま町が出品した作品が「鹿児島信用金庫賞」に輝きました。

今回より1市町村1作品の応募となり、29市町村からそれぞれ趣向を凝らしたレベルの高い作品が出品されました。さつま町の作品は、「さつま町ってどこにある?」をテーマに子どもたち主演のほのぼのとした作品に仕上がっています。

副賞として、作品は一年間KKBBの番組内で40本放送される予定です。



日高町長と商工会青年部川内部長

防災グッズ寄贈 商工会青年部

11月1日、町商工会青年部より、手で発電できるライト・ラジオ・携帯充電電などの機能がついた防災グッズを町に15台寄贈いただきました。

これは夏まつりのオリジナルTシャツの売上金が目標額を大きく上回ったことから提案されたもので、他にも九州北部豪雨災害で甚大な被害に遭った「うきは市」と「みやま市」の両商工会青年部に義援金を贈られました。

町では今回寄贈いただいた防災グッズを災害時の避難所等で活用していく予定です。



上棟式での餅投げ こっちにも投げて！



竹とんぼ体験 高く飛ぶかな？



永野区小中学生による秋津舞



バルーンアートは子どもたちに大人気

さつまの魅力が てんこ盛り

第8回 さつまフェスタ

11月18日、薩摩総合運動公園で、第8回 さつまフェスタが開催されました。当日は晴天に恵まれ、約13,000人の来場者で賑わいました。会場では、ステージショーや農林産物の展示即売、五ツ太鼓まつりや郷土芸能祭、さつま大鍋の無料配布など盛りだくさんの内容で一日中賑わいました。



好評だった青森県鶴田町のりんごコーナー



将来は消防士に……消防放水体験コーナー



さつまるちゃんも献血をPR



息のあった五ツ太鼓の演奏



さつま大鍋は大行列となりました



オープニングの錦光保育園児による太鼓の演奏



B&G体育館では健康チェックコーナーも

11月11日、さつま町駅伝競走大会が開催され、町内17区間28・15kmで地域を代表する8チームの熱戦が繰り広げられました。前日から降り続いた雨もスタート前には止み、号砲一発、寒風の中を選手たちが走り抜けていきました。混戦模様の中、鶴田Aチームが区間賞という安定した力での中盤にトップを奪い返すと、その後は一度もトップを譲ることなく、5連覇を達成しました。序盤の出遅れから激しい追い上げで、一時トップに躍り出た宮之城北部Aチームでしたが、鶴田Aチームに抜き返され、そのまま2位でゴールしました。沿道からは、選手たちの激走に負けない位の熱い声援が贈られ、大いに盛り上がった大会となりました。今大会では、区間新記録が7つ、区間タイ記録が1つ生まれています。

鶴田Aの5連覇成る！ 第8回さつま町駅伝競走大会



順位	チーム名	記録	チーム構成
優勝	鶴田A	1時間37分33秒	鶴田・神子・紫尾・柏原
準優勝	宮之城北部A	1時間39分15秒	虎居・平川・白男川・泊野・柊野
3位	宮之城屋地船木	1時間40分56秒	宮之城屋地・船木
4位	薩摩	1時間41分08秒	求名・中津川・永野
5位	宮之城ほたる	1時間43分44秒	時吉・佐志・湯田
6位	鶴田B	1時間44分29秒	鶴田・神子・紫尾・柏原
7位	宮之城山崎	1時間47分00秒	山崎・久富木・二渡
8位	宮之城北部B	1時間49分39秒	虎居・平川・白男川・泊野・柊野



優勝した鶴田Aチーム

5回出場表彰 (敬称略)

氏名	チーム
1 草ノ瀬一番	宮之城屋地船木
2 草ノ瀬大金	宮之城屋地船木
3 阿久根優花	宮之城北部A
4 木原圭介	宮之城北部A
5 横山浩	宮之城北部B
6 久徳竜也	宮之城北部B
7 井手之上裕貴	宮之城ほたる
8 三角瑠衣菜	宮之城ほたる
9 假屋原亮	宮之城ほたる
10 大野晋弥	宮之城ほたる
11 宇都山拓哉	宮之城山崎
12 宇都宮真二	宮之城山崎
13 西一樹	宮之城山崎
14 池田達馬	宮之城山崎
15 下大迫真末	鶴田A
16 下大迫亮介	鶴田B
17 井上智博	薩摩
18 伊尻成寿	薩摩
19 松下友美	薩摩
20 池山貴美	薩摩

区間賞 (敬称略)

走区	距離(km)	走者区分	氏名	チーム名
1	2.10	29歳以下	井上貴博	薩摩
2	1.35	中高生女子	上大迫みなみ	鶴田A
3	2.05	中高生男子	三重悠晟	宮之城北部A
4	2.55	フリー	玉利健志	鶴田A
5	1.25	一般女子	中須めぐみ	宮之城屋地船木
6	1.35	40歳代	酒匂洋一	宮之城北部A
7	2.05	29歳以下	大園栄一	鶴田A
8	2.25	29歳以下	東條和廣	宮之城北部A
9	0.95	50歳代	上屋敷了	鶴田A
10	1.20	小学生女子	平田水穂	宮之城北部A
11	1.40	30歳代	山口若葉	宮之城山崎
12	1.40	30歳代	柳田新作	宮之城屋地船木
13	1.65	中高生女子	下境田桃香	薩摩
14	1.65	小学生男子	樋之口優希	宮之城屋地船木
15	1.10	小学生女子	指宿玲那	鶴田B
16	1.80	30歳代	木原圭介	宮之城北部A
17	1.35	小学生男子	平八重皓大	宮之城屋地船木
18	2.10	中高生男子	佐藤雷喜	鶴田A
19	2.10	中高生男子	井川寛士	鶴田A

健康診査日程 (12・1月分)
健康増進課 健康増進係
内線2144

乳幼児健診・健康相談
7〜8か月児

(H24・4生) 育児相談
12月21日(金)
午前9時〜午前9時30分
受付(宮之城保健センター)

1歳7〜8か月児
(H23・4生) 健診
12月19日(水)
午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

2歳児(H22・12生)
健やか健康相談
1月10日(木)
午前9時〜午前9時30分
受付(宮之城保健センター)

2歳6か月児
(H22・6生) 健診
1月10日(木)
午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

すくすく育児相談
1月11日(金)
午前9時〜午前10時受付
(宮之城保健センター)

4か月児
(H24・8生) 健診
1月9日(水)
午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

母子健康手帳交付
12月17日(月)

1月7日(月)
午前9時30分〜午前11時
(宮之城保健センター)
※健康保険証・印鑑をお持ちください。

フッ化物塗布
12月19日(水)
1月10日(木)
午後3時〜午後4時受付
(宮之城保健センター)



屋地楽習館健康相談
1月8日(火)
1月15日(火)
1月22日(火)
1月29日(火)
午前9時30分〜午前11時
(屋地楽習館)

「えほんの森」身長・体重測定
1月11日(金)
1月18日(金)
1月25日(金)
午前9時30分〜午前11時
(えほんの森)

ストーブによる
火災を防ごう！
消防本部
☎(52) 0119

寒い時季を迎えるにあたり、これからストーブなどの暖房器具を使用する機会が多くなります。また、最近の電力事情等により、石油ストーブの販売台数が増加しており、石油ストーブ

による火災の増加も懸念されるところです。
ストーブによる火災の主な原因をみると、可燃物の接触・落下、引火・ふく射、使用方法の誤り、消し忘れ、過熱、使用中の給油等が原因となっていますので、特に次の点に注意しましょう。

●可燃物から離して使用
(1)カーテン等が接触しないように、離して使用する。
(2)近くに紙、衣類など燃えやすいものを置かない。
(3)ストーブで洗濯物を乾かささない。

●正しい使用方法
(1)石油ストーブに灯油を給油するときは、必ず火を消してから行う。
(2)ガソリン等の誤給油に注意する。
(3)ストーブの近くでヘアスプレー等を使用しない。また、近くに放置しない。

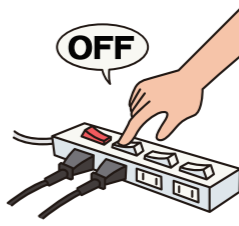
ストーブは使用前に十分な点検を行い、故障している場合は、販売店等に修理を依頼してください。また、シーズン初めての使用の際は、燃焼筒がずれていたり芯の調節が悪かったりして異常な燃焼がおこり、火災に至る可能性があります。



今冬も節電にご協力をお願いします
安全安心対策課 安全安心対策係
内線2215

町民、事業者の皆様には、夏場の節電にご協力をいただき、誠にありがとうございます。今冬の電力需給も依然として、厳しい状況が見込まれています。引き続き節電にご協力をお願いいたします。
●対象期間
12月3日(月)〜平成25年3月29日(金)の平日(年末年始12月31日(月)〜1月4日(金)を除く)
●時間帯
8時〜21時

●節電目安
皆様の生活・健康や経済活動に支障のない範囲で昨年冬にお取り組みいただいた相当の節電にご協力ください。特に8時から11時、17時から20時については、重点的な節電へのご協力をお願いします。
●お問い合わせ先
九州電力(株)川内営業所
☎(0120) 986802



心配ごと相談所
福祉課 福祉障害係
内線2135

毎週木曜日
(1月3日は休み)
午前10時〜正午
宮之城ひまわり館
●お問い合わせ先
町社会福祉協議会
☎(52) 1123

敬老商品券の
ご利用はお早めに！
福祉課 高齢福祉係
内線2131

80歳、90歳なられた皆様に贈呈しました「敬老商品券」の有効期限は、平成25年2月28日までです。まだ使用されていない方は、町内のお店でお早めにご利用ください。



みんなで築こう
人権の世紀
「考えよう 相手の気持ち」
「育つよい心 思いやりを大切に」
町民課 町民係
内線2125

12月4日から10日までは「人権週間」です。人権週間は、昭和23年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定めら

れたもので、本年度64年目を迎え、全国各地で人権に関する各種の啓発活動が実施されます。

本県でも、この期間中、テレビ、ラジオスポットによる啓発放送や鹿児島市のデパート「山形屋」において人権に関するポスターコンクール入賞作品展を開催するなど、様々な人権啓発活動を集中的に実施します。また、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ、その実態を解明し、その抑止を図ることを目的に、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」としています。

拉致問題の解決には「県民一人ひとりの声」が何よりも強い力となるとともに、被害者ご本人とご家族の大きな心の支えになります。この機会に、皆さんも身近なことから人権について考えてみませんか。

●お問い合わせ先
県庁人権同対策課
☎099-286-2574
県庁社会福祉課
☎099-286-2828

償却資産の申告を！
税務課 資産税係
内線2116

固定資産税は、土地・家屋のほか町内に所有されている償却資産(事業用資産)についても課税の対象になります。
償却資産の所有者は、毎年1月1日現在の状況を1月31日までに申告してください。



今月の納税など
税務課 収納第1係
内線2113

固定資産税第4期
国民健康保険税第6期
後期高齢者医療保険料第6期
介護保険料第6期
【納期限12月25日】



10月の火災・救急情報

Table with 2 columns: 火災 (Fire) and 救急 (Emergency). Rows include 発生件数 (Number of incidents), 出動件数 (Number of dispatches), 運んだ人 (Number of people transported), and 内訳 (Breakdown) for 急病 (Sudden illness), 交通事故 (Traffic accidents), and その他 (Others).



Table for 薩摩郡医師会病院診療案内 (Satsuma Prefecture Medical Association Hospital Clinic Schedule). Columns include 診療科 (Department), 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday), 土 (Saturday). Rows include 内科 (Internal medicine), 神経内科 (Neurology), 救急科 (Emergency), 循環器内科 (Cardiology), 消化器内科 (Gastroenterology), 外科 (Surgery), 整形外科 (Orthopedics), 放射線科 (Radiology).

学校クリスマス & 学校説明会 (School Christmas & School Open House) for 大口明光学園中学校・高等学校 (Oguchi Akira Gakuin Junior High School & High School). Includes dates (December 15th) and times (9:00-11:30 AM for Christmas, 11:30-12:30 PM for Open House).

広告を掲載しませんか? 広告主大募集!
詳しくは町ホームページをご覧ください。
http://www.satsuma-net.jp/

さつまいものポテンシャルを引き出せ!

サトイモ

◆種類

サトイモは、サトイモ科サトイモ属の植物であり、世界各地の温暖な地域で根菜として利用されています。主な品種は、赤芽（セレバス）、白芽（大和芋）、石川早生、海老芋、筍芋等です。

◆栽培状況及び出荷先等

さつま町では、約60名の生産者により約16haで赤芽（セレバス）と白芽（大和芋）を中心に栽培されています。主な出荷先は、京都・大阪・広島等の各市場や県内の直売所等です。最近では、農協の販売戦略により、セレバスの親芋が広島県の市場と取引されるようになり、農家の所得向上につながっています。

◆栄養価

主成分はでんぷんとたんぱく質で、食物繊維、ビタミンB1、ビタミンB2、カリウムを含んでいます。なかでも食物繊維の一種であるガラクトマンナンは、血圧・コレステロールを下げる効果があります。サトイモのヌルヌルの素でもあるムチンには、肝臓を丈夫にしたり、胃腸の表面を保護し、胃潰瘍や腸炎を予防する効果があります。こういったヌルヌル成分や食物繊維を多く含むサトイモは、



お問い合わせ先
農政課 農産園芸係
電話(53)1111 (内線2424)

◆調理の仕方

腸を整え便秘の改善にとっても効果があります。

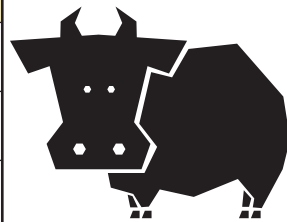
皮をむいたサトイモを洗うと手が痒くなりますが、これは、サトイモの皮の下2〜3mmほどにある細胞内に、多くのシユウ酸カルシウム結晶が含まれているためです。これが皮膚にさざることにより痒くなりますので、手袋をして皮をむきましょう。また、電子レンジで加熱してから皮をむくと、つるりとむけますので、お試しください。

◆その他

また、食の安心・安全の取組みとして、北さつま農協さつまさといも部会では、平成24年10月に「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を取得するなど、安心・安全なサトイモの生産に努めています。

11月子牛せり市結果 期日：11月14日(水)～15日(木) (消費税抜き、売却分) (単位：頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対10月分)
めす	278	125,540,000	1,236,000	451,583	279	23,016円高値
去勢	320	144,021,000	807,000	450,066	299	13,845円高値
合計	598	269,561,000	1,236,000	450,771	289	17,993円高値



航空中央音楽隊クリスマスコンサート開催

町では、航空中央音楽隊によるクリスマスコンサートを開催します。

航空中央音楽隊は、防衛大臣直轄の音楽隊として、防衛省の式典や数多くの国家行事及び国際イベントに参加される、自衛隊でもトップの音楽隊です。今回は、父親がさつま町虎居出身で、世界で活躍されるユーフォニアム奏者の外園祥一郎2等空尉の独奏もあります。昨年創立50周年を迎え、今後さらなる活動が期待される音楽隊の演奏会を、ぜひ観て・聴いて・楽しんでください!

- ★日時 平成24年12月23日(日)午後3時30分開場 午後4時開演
- ★場所 宮之城文化センターホール
入場無料(ただし入場整理券が必要です。)
入場整理券は、宮之城文化センター・さつま町役場・鶴田・薩摩各教育係で配布しています。

★お問い合わせ先 宮之城文化センター 53-1732まで



口腔領域における 画像診断の重要性



▶10代女性のレントゲン
腫瘍によって親知らずが
持ち上げられた様子

このレントゲンはパノラマ撮影といえます。下顎から上顎まで撮影でき、この領域の硬組織疾患(歯牙、骨、唾石、顎関節等)の大部分を診断できます。

この例では下顎の骨に大きな空洞があります。無痛性に歯ぐきが膨隆し、自覚症状が出た時は、奥歯の歯根は腫瘍に吸収され、埋伏した親知らずは上方に持ち上げられています。腫瘍の成長に伴い下顎内の神経の通るトンネルも圧迫されて神経症状もでます。

この様な良性腫瘍(エナメル上皮種)の成長は悪性に比べて遅いので、この方のように10代前半でレントゲンを撮影していれば早期に発見診断されて軽度の処置で完治できます。

また、この撮影法では歯並びの診断や、永久歯―乳歯混合期に於いては先天的な歯牙欠損の診断にも有効で、早期に対応準備が可能となります。当然、むし歯・歯周病・顎関節症の診断にも有効です。東海地方の自治体の検診で

は口腔癌検診にも活用されています。

また、大規模災害における身元鑑定特定の大きな情報ともなります。

最寄りの歯科医院にも同設備はありますので、かかりつけの歯科医院にご相談され、節目には撮影されることをお勧めします。

口腔はお顔の3割を占める重要な部位ですので、定期健診を最寄りのかかりつけ歯科で相談ください。

鹿児島大学歯学部病院では、成長期の子供には**10歳での撮影を推奨**しております。この時期は将来の歯並びの推定に有効です。また歯周病の自覚症状を感じる方は早期の撮影をさせていただきます。早期の検診で健康を維持していきましょう。



薩摩郡歯科医師会監修

だめになる「お口のお話」

薩摩郡歯科医師会
滝川義弘

健康さつま21
こどもたちは保健師です
“五感”をつかって食事をしよう!



料理を作ったり、よく噛んで会話を楽しみながら食事をすると五感が育まれ、たくさんの感覚情報が脳に一挙に伝わるそうです。その情報量が多いほど脳の働きが活発になり、学習力、判断力、計画力、意欲が向上するといわれています。

食事の後の歯みがきも、忘れずに!!

お問い合わせ先 健康増進課 健康増進係
電話：53-1111 (内線2143・2144)

国民年金のお知らせ

年金相談（事前に予約が必要です）

町民課 町民係
内線2125

年金加入記録や受給手続きなどについての『移動年金相談所』を開設します。

年金相談は、完全予約制です。年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、12月17日（月）までに相談者氏名（旧姓）・配偶者氏名（旧姓）・基礎年金番号・相談内容等を役場本庁町民課町民係までお申し込みください。

必ず相談時間をご確認（ご予約）ください。予約した10分前にはご来場ください。

相談をされる方は、関係書類（年金手帳・年金証書・印鑑等）をご持参ください。

年金請求の方は、必要書類を事前に川内年金事務所にご確認ください。

本人確認書類（免許証等）をご持参ください。なお、代理の場合は委任状が必要です。

相談日時
12月25日（火）
午前9時40分から
午後3時40分まで

相談会場

宮之城ひまわり館
いきいき学習室

申込期日

12月17日（月）まで

お申し込み先

町民課 町民係

☎（53） 1111

（内線2125）

年金を受けている方が亡くなったとき

年金を受けている方が死亡すると年金を受ける権利がなくなりますが、年金は死亡した月の分まで請求できます。

請求できる方は、死亡当時、年金を受けていた方と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹です。請求される方がいない場合、住民票コードの登録をされている方につきましては、原則死亡届の提出は不要となりました。

これらの届が遅れると、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますのでご注意ください。

年金を受給されていない方が亡くなられた場合でも、

遺族年金・寡婦年金・死亡一時金が支給される場合があります。

お問い合わせ先

川内年金事務所

☎（22） 5276

国民年金保険料の追納のご案内

保険料の全額免除や一部免除等の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります。

そこで、これらの期間は、10年以内であれば、あとから保険料を納めること（追納）ができるようになっていきます。

追納する場合は、保険料免除等の承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降（平成22・23年度はまだ加算がつかせません）に保険料を追納すると、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乘せされます。追納額につきましては、下表をご覧ください。

お問い合わせ先
川内年金事務所
☎（22） 5279

【平成24年度に追納する場合の額】

	全額免除	4分の3免除	半額免除	4分の1免除
平成 14 年度の月分	14,940円	—	7,470円	—
平成 15 年度の月分	14,720円	—	7,360円	—
平成 16 年度の月分	14,510円	—	7,260円	—
平成 17 年度の月分	14,560円	—	7,280円	—
平成 18 年度の月分	14,610円	10,950円	7,300円	3,650円
平成 19 年度の月分	14,640円	10,970円	7,320円	3,650円
平成 20 年度の月分	14,760円	11,070円	7,370円	3,690円
平成 21 年度の月分	14,840円	11,120円	7,420円	3,700円
平成 22 年度の月分	15,100円	11,320円	7,550円	3,770円
平成 23 年度の月分	15,020円	11,260円	7,510円	3,750円

がんばれ 認定農業者!! シリーズ 75



さつま町神子 幸治 さん 64歳
ひがし とうじ 東 幸治 さん 64歳

東幸治さんは、平成21年に認定農業者として認定されました。施設及び露地で1haの有機野菜と水稲60aを経営されています。現在、小松菜などの葉物を中心に生産されていますが、今後は根菜類をメインにしていきたいと話されます。就農のきっかけは、有機野菜を素材にした新鮮な料理を食べながら地元の人と交流する中で魅力を感じたそうです。

東さんは、かごしま有機生産組合と契約栽培をしているため、経営がしやすいと話されますが、経営規模を拡大するには、行政による更なる販路開拓を望まれています。

また、雑誌などで野菜を使ったレシピや保存方法を紹介するなど、積極的に情報発信に努めていらっしゃいます。

最後に「野菜が順調に育つときの喜びはひとしおです。有機野菜生産者を増やし、いつまでも野菜作りを続けていきたい。」と抱負を話されました。

町長交際費執行状況

（町長等が、行政執行上や町の利益のため、町を代表し外部との交際上必要な経費です。）

（10月分）

- 10月4日 47,800円
立地企業との意見交換会時
- 10月9日 7,200円
観光PR用CD
- 10月14日 83,770円
関東さつま会時ふるさと産品等
- 10月17日 59,500円
全国和牛能力共進会社行会時
- 10月18日 4,000円
社会基盤整備に係る研修会時
- 10月26日 5,000円
香典（町消防団柏原分団 団員種子田氏）
- 10月30日 10,000円
町村会顧問弁護士祝賀会時

町長の動静（平成24年10月）

※主な会議及び行事を抜粋
（各課・局との内部会議は省略）

日	内容
10月1日（月）	職員朝会 ▼ 盈進小学校運動会 川内川水系水質汚濁対策連絡協議会
2日（火）	国保事業鹿児島県実地調査
3日（水）	熊野川流域市町村協議会（和歌山県、三重県）行政視察来町対応 北薩地域行政懇話会（県振興局） ▼ 郡畜産共進会反省会
4日（木）	日特察新築工事起工式 ▼ 立地企業との意見交換会
5日（金）	町内各事業進捗状況現地視察
6日（土）	上宮保育園運動会
7日（日）	運動会（虎居区、鶴田小、佐志小）
9日（火）	県庁関係協議 ▼ 鹿大医局との協議 鹿児島市 ▼ 河川事務所長、ダム管理所長協議 薩摩郡医師会との協議 ▼ 富士通インテグレーションテクノロジー対策協議
10日（水）	認定農業者認定証交付式 ▼ 鹿児島森林管理局長来庁面談 ▼ 新庁舎建設入札執行 木の日（木材利用促進）陳情受 ▼ 県さつま庁舎利活用協議（県管財課、経営技術課） 九州地区共済組合理事長協議会（熊本市） ▼ NHK取材対応
11日（木）	九州地区共済組合理事長協議会（熊本市） ▼ NHK取材対応
12日（金）	決算特別委員会町長総括質疑 ▼ 国会議員来庁面談
13日（土）	防犯少年パレードボール大会
14日（日）	関東さつま会（東京都）
15日（月）	市町村政研修会（鹿児島市）
16日（火）	県町村会定期総会（瀬戸内町）
17日（水）	全国和牛能力共進会激励会
18日（木）	さつま町観光物産展（鹿児島中央駅）
19日（金）	北薩地域振興局建設部との意見交換会（薩摩川内市） 課長会 ▼ まちづくりフォーラム ▼ 地域防犯推進会議 ▼ 共同通信社取材対応
21日（日）	川薩地区母子寡婦福祉研修大会
22日（月）	臨時議会（庁舎建設契約議案） ▼ 町行政改革審議会
23日（火）	農業後継者祝い金贈呈式 ▼ 入札 水道関係 ▼ 市町村職員厚生会理事会（鹿児島市）
24日（水）	全国和牛能力共進会出発式 ▼ 入札 水道関係 ▼ 市町村職員厚生会理事会（鹿児島市）
25日（木）	さつま町のご初出荷式 ▼ 県国有林野等所在市町村長有志協議会（鹿児島市） 入札（水道課） ▼ まちづくり意見交換
26日（金）	入札（水道課）
27日（土）	全国和牛能力共進会（佐世保市）
28日（日）	全国和牛能力共進会（佐世保市）
29日（月）	国会議員地方大会協議（日置市）
30日（火）	県戦没者追悼式（鹿児島市） ▼ 町村会顧問弁護士祝賀会（鹿児島市）
31日（水）	各期成会県知事要望（北薩空港道路 国道328号、鹿児島大口線）（鹿児島市）

町長の再発見

日高政勝

さつま町に永年住み、また転勤等で縁あって住むことになり、「まだ行ったことがない」という所がたくさんあるのではないのでしょうか。

町民の方に、ふるさとの自然・歴史・文化・食などの良さをまず知ってもらい、自信と誇りを持って、町外の人達へその魅力を情報発信して欲しい。そういう願いで今年初めて「ふるさと再発見・さつま町を知るツアー」を実施しました。

紫尾神社・宗功寺・伝統工芸センター・推込分水路・農産物直売所などを巡る「よくばりコース」と観音滝公園・ガラス工芸館・永野金山などを巡る「歴史・遺構コース」の2ルートに分かれてバスで巡回する50人限定応募のツアーでしたが、参加者の皆さんからほしいへん好評をいただきました。

特に宗功寺、歴史資料センター、紫尾神社（温泉）、永野金山などは、専門員や文化財ボランティアの説明に満足し、人気がありました。

再度参加したいという希望が多いことから内容や時期等を練って、多くの方々に参加頂き、ふるさと再発見の機会に努めてまいります。

1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

はっとり いず
服部 稜ちゃん
平成23年12月1日生



観月台公民会
父 憲 昌 さん
母 聖 子 さん

両親から一言
兄妹仲良く
元気に育ってね!

誕生おめでとう!
10月16日～11月15日届出分(12人) 敬称略

あかちゃん 翁保護者 公民会
今西 苺花 女 光昭 日当瀬
園田 蒼空 男 宏信 船木西
井上 頼輝 男 雅貴 須杭
下山 源太 男 隆康 下京塚原
宮園 乃嘉 女 利一 田原
久保田 光 男 雅 五日町
奥平 拓見 男 政作 山崎上
中野莉里愛 女 善成 下川口
山之口杏奈 女 智章 ウッドタウン
益口 結桜 女 智成 轟原
園田 威風 男 誠 下京塚原
橋西 夢華 女 賢太 広瀬

おくやみ申し上げます
10月16日～11月15日届出分(28人) 敬称略

なくなつた人 年齢 公民会
佐藤アキノ 94 鶴田南
前田 道雄 94 田原
永野レイ子 71 湯田原
松崎 トミ 99 鶴宮園
寿福 秀信 58 田原
寿福 早苗 56 田原
古城ナミエ 90 愛宕
酒匂 タカ 78 下平川
種子田 修 58 種子田
尾坐原征男 70 大薄下
中園 光枝 90 大畝町
川野スミ子 86 上場
山下ワカノ 100 尾原
川畑 政彦 69 須杭

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

なくなつた人 年齢 公民会
久留仲右衛門 93 二渡
富森 力男 85 弓之尾
宮之脇郁男 76 紫尾中
上園 政治 87 東町
辻園 一幸 80 湯田下
池之野ヨツエ 94 池之野
久保田 満 76 新町
中野ヒサ子 87 北原
甫立己之助 85 甫立
福島 裕子 85 前目
福園 秋雄 79 柊野中間下
下大迫光範 62 中間
蔵野サダ子 86 戸子田
重信 光雄 82 新町

さつま町よかとこファイル No.14



田畑の貴重な水源となっています



議会事務局 議事係
神園 大士
議会に関する仕事を
しています。

湯田「旧塘池(ふるともいけ)」

さつま町湯田地区にあるた
め池「塘池(ともいけ)」は、
宮之城島津家第4代久通によ
り、藩の財政を潤すため、開
田や用水路と供に工事が進め
られ、宝暦7年(1757
年)、9代城主久亮の代に完
成しました。その後、近接地
に完成した新塘池(しんとも
いけ)と区別するため、「旧
塘池(ふるともいけ)」と呼
ばれるようになりました。以
来、約250年間にわたり湯
田地区の田畑の貴重な水源と
しての役割を果たしています。
積年の土砂の堆積や取水施
設の老朽化のため、平成20年
より改修工事を開始しました
が、江戸時代に作られた洪水
吐水路や取水水路は、現在の

基準においても十分対応でき
ることが判明し、そのまま継
続利用しています。平成22年
3月、改修工事は完了しまし
た。

私の幼少期には、掃除のた
めに旧塘池の水を抜く「とも
びらき」という行事がありま
した。水を抜いた池の中を、
友人たちと泥まみれで鯉やウ
ナギを捕まえていた懐かしい
思い出の場所です。



改修工事の看板

ご好評につき 低線量CT肺がん検診 追加募集決定!!

(※先着50名になり次第終了となります。)

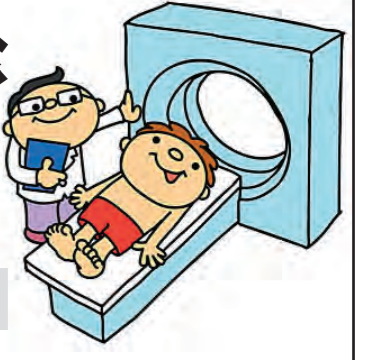
■検診費を一部助成します!
肺がんによる死亡は、本県のがんによる**死因の第1位**で、増える傾向にあります。そのため県・町では肺がんの早期発見に有効とされている、低線量CTによる肺がん検診を、多くの方に受診していただけるよう、検診費の一部を助成します。薩摩郡医師会病院において、**自己負担額1,000円**で低線量CT肺がん検診を受けることができます。

■対象者
さつま町に住民票のある方で、受診日時点において満50歳以上の方(肺の疾患を治療または経過観察中で医師の管理下にある方、肺がん検診で要精密検査となった方は除く)

■受診方法
①役場(本庁)健康増進課窓口で交付される受診券を受け取る。(保険証や運転免許証などの身分を証明できるものをご持参ください。)
②薩摩郡医師会病院に電話予約する。(電話：0996-53-0326)
③受診券を持って予約日に薩摩郡医師会病院で受診する。

■結果 検査結果は、薩摩郡医師会病院から連絡があります。

＜お問い合わせ先＞
健康増進課 健康増進係
電話：53-1111(内線：2143・2144)



寄贈 薩摩寒蘭「白妙」の書

さつま町(宮之城屋地)出身で鹿児島市在住の下尾恵美子(旧姓 別府)さんから町花である薩摩寒蘭の「白妙」の書を寄贈いただきました。寒蘭の繊細で優雅なイメージが見事に表現されています。作品は現在、町長室に展示されています。

秋の風景

平川小近くの
コスモス畑

紫尾山頂より

観音滝公園の紅葉

さこんじゅう あんな
左近允 杏奈 さん

佐志小学校6年



私の建てた家で、笑顔に

私の夢は、大工になることです。大工になろうと思ったのは、大工である父が、建築現場で、一生けん命働いている姿を見たときからです。何も無い所に家ができていくところや、高い場所でもこわがらずに作業をしている父を見ていて、私も父のようになりたいと思い始めました。これから先、もっともっと勉強をして、父のような大工になって、自分の建てた家に住む人を笑顔にしたいと思います。

休日在宅医

12月

- 9日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326
- 16日 さくらクリニック ☎ 53-1451
- 23日 相良医院 ☎ 53-0160
- 24日 木原医院 ☎ 52-2700
- 30日 クオラハビリテーション病院 ☎ 53-1704
- 31日 立志病院 ☎ 55-9119

1月

- 1日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326
- 2日 林田内科 ☎ 53-1177
- 3日 益寺医院 ☎ 57-0010
- 6日 さつまクリニック ☎ 57-0020

休日薬局

12月

- 9日 青空薬局 ☎ 52-0101
- 16日 きりん薬局 ☎ 52-2033
- 23日 うさぎ薬局 ☎ 52-4116
- 24日 みやんじょ薬局 ☎ 52-4650
- 30日 祁答院薬局 ☎ 21-8085
- 31日 フタヤ薬局 ☎ 59-2033

1月

- 1日 青空薬局 ☎ 52-0101
- 2日 ウチ薬局 ☎ 53-0063
- 3日 ぎんざ薬局求名店 ☎ 31-6500
- 6日 うさぎ薬局 ☎ 52-4116

わたしたちの町

推計人口による

人口 23,396人 (- 25人)
 男 10,816人 (- 21人)
 女 12,580人 (- 4人)

世帯数 9,945世帯

転入 41人 転出 42人
 出生 10人 死亡 34人

(平成24年11月1日現在)

()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。